

平成22年度

開成町 教育改革の取組

(開成町教育委員会の点検・評価)

開成町教育委員会

平成23年8月

平成22年度 開成町教育委員会の点検・評価

目 次

1	はじめに	・・・・・・・・	1
2	教育委員会制度の概要	・・・・・・・・	2
3	教育委員会の各事業の点検・評価	・・・・・・・・	17
	(参考資料) 開成町立学校のデータ	・・・・・・・・	69
	開成町教育改革検証会議実施要領	・・・・・・・・	70
	開成町人づくり憲章	・・・・・・・・	71
	開成町教育振興基本計画の概要	・・・・・・・・	72

1. はじめに

平成18年12月に、これまでの教育基本法を全面改正する新しい教育基本法が成立し、公布・施行されました。

教育基本法は、我が国の教育の根本的な理念や原則を定めるもので、すべての教育関係法令の根本法ともいえるべき法律です。今回の改正は、これまでの教育基本法が掲げてきた普遍的な理念は継承しつつ、公共の精神など、日本人が持っていた「規範意識」を大切にすることなど、今日極めて重要と考えられる理念を明確にしたものです。

また、この新しい教育の理念の下、地方における教育行政の中心的な担い手である教育委員会の体制の充実・強化を目指して、平成19年には、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、平成20年に施行されました。

開成町では、平成21年3月に、今後、開成町民一人ひとりが健康で潤いに満ちた幸福な生涯を送ることができる社会の実現を目指し、どのような教育＝人づくりを行っていくのかを定めた開成町の普遍的な教育の基本理念である「開成町人づくり憲章」を制定し、その教育の基本理念を具現化するために、重点的に取り組むべき教育施策を取りまとめた「開成町教育振興基本計画」を策定いたしました。

この策定された計画に基づき事業を展開し、着実に実施していくことが開成町教育委員会としての責務となっています。

そこで、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく「教育委員会の点検・評価」を実施し、教育行政に対する町民への説明責任を果たしていくために、開成町教育委員会では、ここに教育委員会の点検・評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

町民の皆さまをはじめ、各方面の皆さまにこの報告書をご覧いただき、開成町教育委員会の取り組みに対するご意見をいただくことで、「教育のまち かいせい」の実現をめざしてまいります。

2. 教育委員会制度の概要等

(1) 教育委員会制度と開成町教育委員会

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の定めにより、都道府県及び市町村等に置かれる合議制の執行機関です。

開成町教育委員会は5人の教育委員により構成されており、開成町長が開成町議会の同意を得て任命します。教育委員の任期は4年で、再任されることもできます。

教育委員長は、教育委員の中から互選で選ばれ、教育委員会を代表し、教育委員会の会議を主宰します。教育委員長の任期は1年ですが、再任されることもできます。

教育委員会会議は、月1回の定例会のほか、臨時会を開催しています。

教育委員会の権限に属する事務を処理するため、教育委員会に教育長と事務局(教育総務課)が置かれています。

教育長は、教育委員長以外の教育委員の中から教育委員会が任命します。教育長は、教育委員会の指揮監督の下、すべての事務をつかさどります。

事務局は、教育長の統括のもと、教育委員会の権限に属する事務を処理します。事務局の組織は、開成町教育委員会の規則で定められています。

開成町長

(議会の同意を得て任命)

開成町教育委員会

教育委員 員長	教育委員長 職務代理	教育委員	教育委員	教育委員
------------	---------------	------	------	------

教育委員の中から任命、指揮監督

教育長 総括・職員の監督

事務局

教育総務課長	指導主事	事務職員	その他の職員
--------	------	------	--------

教育総務課

開成幼稚園、開成小学校、開成南小学校
文命中学校 金井島緑陰自由運動広場
開成町民センター、南部コミュニティセンター
その他

(2) 開成町教育委員会の構成(平成22年度)

役職名	氏名	任期
教育委員長(12月14日まで)	井上 清隆	平成18年12月21日～平成22年12月20日
教育委員長(12月22日から)	白石 久司	平成20年12月15日～平成24年12月14日
教育委員長職務代理	井上 静子	平成22年4月1日～平成26年3月31日
教育委員	武井 正広	平成21年7月1日～平成25年6月30日
教育委員	渡部 勇介	平成22年12月21日～平成26年12月20日
教育長	松浦 晃幸	平成19年10月1日～平成23年3月31日(辞任)

(敬称略)

(3) 教育委員会の主な仕事

教育総務課

- (1) 教育行政の企画及び調整に関すること。
- (2) 教育委員会の会議に関すること。
- (3) 事務局及び学校その他の教育機関の職員(県費負担教職員を除く。以下「職員」という。)の人事に関すること。
- (4) 教育財産に関すること。
- (5) 学校、その他の教育機関の設置、管理及び廃止に関すること。
- (6) 教育委員会規則等の制定、改廃及び公布に関すること。
- (7) 教育行政の調査、統計及び広報に関すること。
- (8) 育英奨学金に関すること。
- (9) 町民センター及び南部コミュニティセンターの管理に関すること。
- (10) 学校の組織及び学級編成に関すること。
- (11) 幼児、児童及び生徒の就園、就学に関すること。
- (12) 県費負担教職員の人事等の事務に関すること。
- (13) 県費負担教職員の服務及び研修に関すること。
- (14) 就学援助及び就園奨励費に関すること。
- (15) 学校施設の維持、修繕に関すること。
- (16) 教材、教具の整備に関すること。
- (17) 教科書その他教材の取り扱いに関すること。
- (18) 特別支援教育及び就学指導委員会に関すること。
- (19) 学校行事等の許可承認に関すること。
- (20) 学校の教育課程、学習指導及び学習効果の評価に関すること。
- (21) 幼児、児童及び生徒の指導に関すること。
- (22) 幼児、児童及び生徒の保健衛生及び安全に関すること。
- (23) 就学時健康診断に関すること。
- (24) 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関すること。
- (25) 学校保健、安全及び学校給食に関すること。

- (26) 適応指導教室に関する事。
- (27) 教育相談に関する事。
- (28) 学校予算の調整及び執行管理に関する事。
- (29) その他学校教育に関する事。
- (30) 社会教育施設の企画及び管理運営に関する事。
- (31) 社会教育委員に関する事。
- (32) 生涯学習の推進に関する事。
- (33) 社会教育関係団体の指導育成に関する事。
- (34) 社会教育の指導者等の研修、養成等に関する事。
- (35) 講座、講演会、展示会等社会教育活動の企画運営に関する事。
- (36) 社会教育の企画、調査及び広報に関する事。
- (37) 社会教育資料の刊行に関する事。
- (38) 文化財保護委員に関する事。
- (39) 文化財の保護に関する事。
- (40) 青少年問題協議会に関する事。
- (41) 青少年指導員に関する事。
- (42) 青少年健全育成に関する事。
- (43) 成人教育、家庭教育及び女性教育等に関する事。
- (44) 人権教育に関する事。
- (45) 町民センター及び南部コミュニティセンター活動に関する事。
- (46) 町民センター及び南部コミュニティセンターの利用申し込みに関する事。
- (47) 図書室の管理運営に関する事。
- (48) ユネスコ活動に関する事。
- (49) 学校体育施設等の開放に関する事。
- (50) 学校施設等の利用申し込みに関する事。
- (51) その他社会教育に関する事。

(4) 平成22年度教育委員会会議(定例会・臨時会)の開催状況

教育委員会の会議は毎月原則下旬に開催される定例会と必要に応じ開催される臨時会があり、平成22年度においては、次のとおり開催し、審議を行いました。

(平成22年4月～平成23年2月まで)

開催日	区分	議 事 等
(平成22年) 4月26日	定例会	報告1 経過報告 報告2 町立学校の様子について 協議1 開成小学校・文命中学校におけるコミュニティー・スクール指定について 協議2 幼稚園教育改革検討委員会について 協議3 平成22年度小学校教科用図書採択について
5月25日	定例会	報告1 経過報告 報告2 町立学校の様子について 報告3 開成南小学校の一般開放について 協議1 開成小学校改修計画について 協議2 開成南小学校開校に関するイベントについて
6月29日	定例会	報告1 経過報告 報告2 町立学校の様子について 報告3 開成小学校改修工事実施設計事業者の決定について 報告4 平成22年度第1回開成町議会定例会6月会議報告について 協議1 平成22年度神奈川県教科用図書足柄上採択地区共同採択会議における採択方法(案)について 協議2 コミュニティー・スクールの任命について
7月20日	臨時会	協議1 平成23年度使用小学校用教科書採択について 協議2 その他

開催日	区分	議 事 等
7月29日	定例会	報告1 経過報告 報告2 町立学校の様子について 報告3 コミュニティー・スクール指定状況について 協議1 平成23年度使用小学校教科用図書の採択について
8月26日	定例会	報告1 経過報告 報告2 町立学校の様子について 協議1 開成町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費交付事務処理要綱(案)の改正について
9月29日	定例会	報告1 経過報告 報告2 町立学校の様子について 報告3 開成町議会定例会9月会議について 報告4 開成町教育委員会の人事異動について 協議1 開成町特殊教育就学奨励費交付事務処理要綱(案)の改定について
10月28日	定例会	報告1 経過報告 報告2 町立学校の様子について 報告3 西湘地区教職員組合との交渉について 報告4 開成町事業仕分けについて 協議1 平成23年度開成町教育委員会重点施策について 協議2 「放課後子ども教室」の調査・研究についての答申について
11月25日	定例会	報告1 経過報告 報告2 町立学校の様子について 報告3 町就学指導委員会の結果報告について 協議1 平成22年度全国学力・学習状況調査の調査結果について
12月22日	定例会	報告1 経過報告 報告2 町立学校の様子について 報告3 12月議会について 協議1 委員長、委員長職務代理の選任について 協議2 開成町学校教職員服務規程の一部を改正する訓令について 協議3 神奈川県教科書足柄上採択地区協議会における訴状対応について

開催日	区分	議 事 等
(平成23年) 1月24日	定例会	報告1 経過報告 報告2 町立学校の様子について 報告3 平成22年度全国体力・運動能力、運動週間等調査について 報告4 神奈川県教科書足柄上採択地区協議会における訴状取り下げについて 協議1 平成23年度開成町各学校・園における教育課題への取組要請について
2月28日	定例会	報告1 経過報告 報告2 町立学校の様子について 報告3 いじめアンケート結果について 報告4 平成23年度当初予算について 報告5 認定こども園視察報告について 協議1 平成23年度開成町教育委員会における取り組み及び平成23年度開成町各学校・園における教育課題への取り組み要請について 協議2 開成小学校及び文命中学校の学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)について 協議3 子ども手当の取り扱いについて 協議4 教育委員会人事について
3月30日	定例会	報告1 経過報告 報告2 町立学校の様子について 報告3 平成22年度開成町教育委員会の点検・評価について 報告4 開成町教育委員会の人事異動について 報告5 3月議会について 報告6 平成23年度当初予算について 報告7 開成町教育改革に向けた新たな取り組み(教育長) 報告6 認定こども園視察報告について 協議1 東北関東大震災の避難者に対する教育委員会としての対応 協議2 平成22年度末教職員の人事について

(4) 平成22年度教育委員の主な活動

教育委員は、定例会や臨時会などの教育委員会会議以外に、幼稚園、小学校、中学校の学校訪問や教育委員会や町などの主催行事や学校行事、研修会などに参加しており、平成22年度の主な活動は次のとおりでした。

(平成22年4月～平成23年3月まで)

活動日	内 容
(平成22年)	
4月 1日	教職員辞令交付式(着任式)
4月 5日	開成小学校・開成南小学校・文命中学校入学式
4月 8日	開成幼稚園入園式
4月 9日	平成22年度神奈川県市町村教育委員会連合会総会
5月12日	平成22年度神奈川県町村教育長春の総会
5月15日	文命中学校体育祭
5月18日	足柄上郡町村教育委員会協議会総会
5月18日	平成22年度神奈川県教科用図書足柄上採択地区協議会(第1回)
5月19日	平成22年度西湘地区教育長協議会総会
5月22日	全国町村教育長会第52回定期総会並びに研究会
6月 4日	西湘地区教育委員会連合会総会
6月 5日	あじさい祭2010(~6月13日)
6月 7日	第2回西湘地区教育長協議会
7月 1日	神奈川県町村教育長会(臨時会)
7月14日	平成22年度神奈川県教科用図書足柄上採択地区協議会(第2回)
7月17日	開成幼稚園夏祭り
7月29日	教科用図書足柄上協同採択会議
7月31日	青少年問題を考える集会
8月24日	開成町教育講演会
8月26日	第32回自転車の安全な乗り方足柄上地区大会
9月 5日	町防災訓練
9月11日	第23回開成阿波おどり
9月16日	臨時上郡教育長会
9月18日	開成小学校・開成南小学校運動会
9月26日	文命中学校文化祭
10月7日	平成22年度神奈川県町村教育長秋の総会
10月7日	教育講演会
10月11日	開成幼稚園運動会
10月12日	コミュニティースクールの在り方を考える「熟議」
10月13日	第4回市町教育長会議
10月16日	酒田保育園運動会
10月27日	平成22年度足柄上郡小学校連合体育大会

活動日	内 容
11月5日	平成22年度神奈川県市町村教育委員会連合会研修会
11月5日	平成22年度足柄上郡小学校音楽会
11月6日	かいせい文化祭芸能発表会
11月10日	第3回西湘地区教育長協議会
11月13日	かいせい文化祭展示発表会
11月24日	第5回市町教育長会議
12月11日	町人権講演会
(平成23年)	
1月 5日	開成町賀詞交換会・表彰式
1月 9日	平成22年度開成町成人式
1月20日	神奈川県市町村教育長会研修会
1月22日	平成22年度西湘地区教育委員会連合会研修視察
1月26日	市町教育長会
2月 2日	第47回神奈川県小学校教育研究会中央研究大会足柄上・南足柄大会
2月 9日	県・市町村教育委員会教育長会議
3月 9日	文命中学校卒業証書授与式
3月17日	開成幼稚園卒園式
3月23日	開成小学校・開成南小学校卒業証書授与式
3月31日	教職員離任式

3. 開成町教育振興基本計画に基づく教育委員会の各事業の点検・評価

(1) 点検・評価の実施方法

点検及び評価の対象等について

点検及び評価の対象とする事務事業は、点検及び評価を行う年度の開成町教育振興基本計画（平成21年3月策定）に定める各施策を対象とし、開成町教育改革検証会議委員の意見を聴いた上で教育委員会が報告書として取りまとめました。

評価実施の流れについて

ア 自己評価

開成町教育振興基本計画に定められた事業について、開成町教育委員会事務局で自己評価を行いました。

イ 外部評価

開成町教育改革検証会議委員による外部評価を行いました。

ウ 教育委員会会議の協議・議決

教育委員自身による評価を行った上で、教育委員会による協議・議決を行いました。

エ 議会議員への報告書の提出・報告及び公表

教育委員会会議の協議・議決を経た上で、その結果を議会全員協議会に提出・報告し、町ホームページ等で、町民に公表します。

点検及び評価に関する有識者について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項の規定の趣旨に基づき、事務事業の点検及び評価を行うに際し、教育に関し識見を有する町民等により構成する有識者会議「開成町教育改革検証会議」を設置し、教育委員会が行った点検及び評価の結果について意見をいただきました。

ア 開成町教育改革検証会議委員名簿（敬称略）

氏 名	役 職 等
久保田 和男	開成町社会福祉協議会常務理事
遠藤 敦子	婦人会会長
大平 実	開成町立文命中学校校長

イ 開成町教育改革検証会議開催状況

回	開催期日	内 容
1	平成23年3月2日	教育に関する事務の管理及び執行の点検及び 評価について 点検及び評価の進め方について
2	平成23年7月8日	教育に関する事務の管理及び執行の点検及び 評価について 委員による評価について
3	平成23年8月11日	教育に関する事務の管理及び執行の点検及 び評価の取りまとめについて

(2) 各事業の点検及び評価結果について

<p>1 開成町教育振興基本計画に定める事業</p>																														
<p>1 生涯学習プログラムの充実 目標や取組の方向性 町民センター講座や瀬戸屋敷、地域集会施設などを活用した生涯学習プログラムを充実するとともに、開成町以外の近隣市町が実施する生涯学習プログラムの機会の提供が促進できるよう広域連携を進めます。 (具体的な施策) * は、事業完了を示します。 町民に対し図書館サービスの充実を図るために、平成21年度から秦野市との相互の公共図書館の広域利用について協定を締結し、広域連携を進めます。済 瀬戸屋敷や地域集会施設などを活用した各種イベント事業を展開し、地域住民のふれあいの場づくりを推進します。 「団塊の世代」の人材を活用して、新たな生涯学習プログラムを研究して実施します。</p>																														
<p>2 事業の実施状況</p>																														
<p><町民センター図書室の状況> 1986年開室、面積162㎡</p> <table border="1" data-bbox="220 927 1090 1368"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成22年度</th> <th>平成21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蔵書冊数</td> <td>34,291冊</td> <td>33,015冊</td> </tr> <tr> <td>うち児童用図書</td> <td>13,052冊</td> <td>12,601冊</td> </tr> <tr> <td>貸出登録者数(人)</td> <td>7,500人</td> <td>7,221人</td> </tr> <tr> <td>(うち児童)</td> <td>928人</td> <td>944人</td> </tr> <tr> <td>年間開館日数</td> <td>296日</td> <td>298日</td> </tr> <tr> <td>年間貸出冊数</td> <td>34,992冊</td> <td>34,035冊</td> </tr> <tr> <td>(うち一般)</td> <td>24,273冊</td> <td>22,910冊</td> </tr> <tr> <td>(うち児童)</td> <td>10,719冊</td> <td>11,125冊</td> </tr> <tr> <td>一日平均貸出冊数</td> <td>118冊</td> <td>114冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>町民の生涯学習を推進するため、「町民センター講座」を開催しました。</p> <p><町民センター講座の実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度 29講座・延べ95回 参加者延べ1,006人 ・平成21年度 28講座・延べ84回 参加者延べ1,027人 <p>瀬戸屋敷の蔵において「蔵ひろば」を実施しました。</p> <p>注)「蔵ひろば」・・・子ども向けにお話し会・人形劇・紙芝居などを月2回開催。 講師は近隣市町のボランティア団体(14団体)</p> <p><実績>月2回第2・4土曜日に開催(全21回・延べ257人参加)</p> <p>瀬戸屋敷を中心に、「あしがり学校」を開催しました。</p> <p><実績>・あしがり学校シニアコース(全7回)参加者延べ162人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あしがり学校特別コース(全7回)参加者延べ 99人 ・あしがり学校小麦コース(全1回)参加者延べ 238人 		平成22年度	平成21年度	蔵書冊数	34,291冊	33,015冊	うち児童用図書	13,052冊	12,601冊	貸出登録者数(人)	7,500人	7,221人	(うち児童)	928人	944人	年間開館日数	296日	298日	年間貸出冊数	34,992冊	34,035冊	(うち一般)	24,273冊	22,910冊	(うち児童)	10,719冊	11,125冊	一日平均貸出冊数	118冊	114冊
	平成22年度	平成21年度																												
蔵書冊数	34,291冊	33,015冊																												
うち児童用図書	13,052冊	12,601冊																												
貸出登録者数(人)	7,500人	7,221人																												
(うち児童)	928人	944人																												
年間開館日数	296日	298日																												
年間貸出冊数	34,992冊	34,035冊																												
(うち一般)	24,273冊	22,910冊																												
(うち児童)	10,719冊	11,125冊																												
一日平均貸出冊数	118冊	114冊																												
<p>3 事業の効果等</p>																														
<p>町民センター講座では、毎年延べ1,000人近くの参加者があり、健康講座、趣味の講座など様々なことを学んだり、チャレンジしています。</p>																														

蔵ひろばについては、紙芝居やおはなしサークルの協力により子どもたちの参加数も安定しております。		
達成度評価	90%	(算出根拠)
4 事業の課題・改善策・今後の方向性等		
<p>費用対効果を勘案するとともに、多様化する町民ニーズに対応できるよう講座の内容や開催時間等を工夫し、より多くの町民が参加できるように努めます。また、事業のマンネリ化を防ぐため事業の見直しをしていきます。</p> <p>図書室については、蔵書を増やすため予算の増額と町民センター3階の視聴覚室の利用について検討していきます。</p>		
5 有識者の評価		
<p>厳しい経済状況で、図書館の蔵書を増やし、貸出冊数、人数とも増加していることは評価出来ます。</p> <p>生涯学習については、町民センター講座、瀬戸屋敷等大いに満足している。図書室についても、開成にない本を調べたり、他の図書館から取り寄せたりすることもでき満点です。</p> <p>費用対効果のみで事業を判断せず、効果を上げるための見直しをして欲しい。</p> <p>瀬戸屋敷の「蔵ひろば」等も小さな子ども向けの事業だが場所的に車を利用しないと参加できない状況です、その事について対応は考えられているのか。</p> <p>図書室については、読書の環境も大切と思う、部屋の広さと大会議室の隣という状況は、ベストではないので視聴覚室の利用を進めて欲しい。</p>		

1 開成町教育振興基本計画に定める事業																									
2 生涯学習を支える指導者の育成																									
<p>目標や取組の方向性</p> <p>生涯学習推進員の育成、「団塊の世代」の活躍の場となりうる人材バンクの活用や促進、自治会、婦人会、老人クラブ、各種文化団体等との連携強化などを通し、町民の生涯にわたる学習を支える指導者や団体を育成します。</p> <p>(具体的な施策)</p> <p>地域の人材や学習ボランティアの発掘を図り、町民センター講座を充実していきます。また、「団塊の世代」の方々がその豊富な経験や能力を活かし、地域の中心となって、生涯学習を推進できるようにします。</p> <p>将来を担う青少年の指導者の育成を図ります。そのため、現在行っているジュニア・スクールやジュニア・リーダー研修の内容を検討し、その充実を図ります。</p>																									
2 事業の実施状況																									
<p>町民センター講座においては、引き続き、地域の人材や学習ボランティアの発掘を行うため、人材バンクの登録を実施しました。</p> <p><人材バンク登録者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度 69分野 76人 ・平成21年度 65分野 78人 <p>人材バンク登録者を講師とした町民センター講座を実施しました。</p> <p>今年度も、このところ続いている健康ブームを反映して、「骨盤調整ストレッチ」、「アロママッサージ」の新たなメニューが追加され、また、「着物着付講座」では、講座の追加をするなど、定員を超える参加を得ました。</p> <p><町民センター講座の実績></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">・平成22年度</td> <td style="width: 40%;">29講座・延べ96回</td> <td style="width: 20%;">参加延べ人数</td> <td style="width: 20%;">985人</td> </tr> <tr> <td>・平成21年度</td> <td>28講座・延べ84回</td> <td>参加延べ人数</td> <td>1,027人</td> </tr> </table> <p>将来を担う青少年の育成のためのジュニア・スクールを夏休みに行いました。</p> <p><実績></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">平成22年度</th> <th style="text-align: center;">平成21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・水泳教室</td> <td style="text-align: center;">44人</td> <td style="text-align: center;">32人</td> </tr> <tr> <td>・陶芸教室</td> <td style="text-align: center;">106人</td> <td style="text-align: center;">73人</td> </tr> <tr> <td>・トールペイント教室</td> <td style="text-align: center;">13人</td> <td style="text-align: center;">17人</td> </tr> <tr> <td>・絵画教室(2回)</td> <td style="text-align: center;">47人</td> <td style="text-align: center;">58人</td> </tr> </tbody> </table> <p>青少年指導員の活動として、ジュニア・リーダーサマーキャンプを7月に2泊3日の日程で、国立中央青少年交流の家で開催し、52人が参加しました。</p>			・平成22年度	29講座・延べ96回	参加延べ人数	985人	・平成21年度	28講座・延べ84回	参加延べ人数	1,027人		平成22年度	平成21年度	・水泳教室	44人	32人	・陶芸教室	106人	73人	・トールペイント教室	13人	17人	・絵画教室(2回)	47人	58人
・平成22年度	29講座・延べ96回	参加延べ人数	985人																						
・平成21年度	28講座・延べ84回	参加延べ人数	1,027人																						
	平成22年度	平成21年度																							
・水泳教室	44人	32人																							
・陶芸教室	106人	73人																							
・トールペイント教室	13人	17人																							
・絵画教室(2回)	47人	58人																							
3 事業の効果等																									
<p>ジュニア・リーダーサマーキャンプにおいて、青少年指導員の指導のもとに、自炊の体験やウォークラリーなどの体験学習のなかで、人と交わることの楽しさを子どもたちが味わうことができました。</p>																									
達成度評価	90%	(算出根拠)																							
4 事業の課題・改善策・今後の方向性等																									

子どもたちに多くの体験機会が与えられるよう努めるとともに、団体活動の支援をとおし、青少年の健全育成に向け環境整備を推進します。

5 有識者の評価

青少年の指導者としての指導力の向上のための講座の検討が必要。
人材バンク登録者を講師とした町民センター講座の実施は、講師の活用面として評価できる。
趣味や特技が生かせる人材は他にも大勢いるので、もっと発掘してはいかがですか。
人材バンク登録者が増え、講座回数が増したことは好ましいが、参加人数が減っている事は募集方法等に工夫が必要ではないか。

1 開成町教育振興基本計画に定める事業		
3 生涯学習を支える施設の整備 目標や取組の方向性 町民センター図書室の充実や学校施設、町民センター、瀬戸屋敷などの活用を通し、生涯学習の拠点となる施設を整備します。さらに、町の読書活動の要となる町図書館の設置について検討していきます。 (具体的な施策)* は、事業完了を示します。 開成南小学校の学校施設の一般開放に努め、学習の場を提供するとともに自治会、民間団体、企業等との連携を図ります。 町民センター図書室サービスの充実を図るため、平成21年度から秦野市との図書館の広域利用を進めます。済		
2 事業の実施状況		
開成南小学校の学校施設の一般開放を平成22年6月から開始した、また、夏休み中プールの一般開放を行った。 町民センター図書室の蔵書を増やすため視聴覚室の改修を行い、書架を増設した。		
3 事業の効果等		
開成南小学校を含めた小中学校の体育施設を開放することによって、スポーツ団体の活動の充実が図られることが期待されます。また、多目的ホール等の利用によって、より生涯学習を充実させることができます。		
達成度評価	90%	(算出根拠)
4 事業の課題・改善策・今後の方向性等		
開成南小学校は、グラウンド・体育館などの体育施設だけではなく、多目的ホールや音楽室・理科室などの施設利用を町民や各種団体に対し促進していきます。 町民センターの図書室の蔵書を増やすため、視聴覚室の利活用をし、書架6台を増やします。 家庭・地域・学校などの読書活動を推進するため毎月1日を「開成ファミリー読書デー」とし、読書活動の定着、推進を図ります。		
5 有識者の評価		
町民センターの蔵書を増やすことは大切である。学校と町の図書館のパイプ役でもある図書司書の役割も重要なものとなっている。 施設面については、文化財等の資料を保存展示できる施設があったらよかったと思う。金井島緑陰広場にあるプレハブ倉庫内に眠っているいろいろな資料を整理した方がよいと思う。		

1 開成町教育振興基本計画に定める事業		
4 スポーツ・レクリエーション活動の充実		
<p>目標や取組の方向性</p> <p>パークゴルフの普及・促進、各種スポーツ教室や大会の充実、自治会の体育振興への支援・連携強化、かいせいスポレクフェスティバルの充実、自転車利用の推進などを通し、スポーツ・レクリエーション活動を充実します。</p> <p>(具体的な施策)</p> <p>地域の人と触れ合ったり、子どもたちの体力を増進したりするため、オリエンテーリング感覚で子どもたちが町内の史跡等をめぐるイベントの開催を検討します。</p> <p>各種スポーツ教室や大会を開催し、町民のスポーツ・レクリエーション活動を充実するとともに支援します。また、他市町とのスポーツ交流を進めます。</p> <p>「子どもパークゴルフ大会」を開催するなど、パークゴルフの利用者の拡大を図ります。</p>		
2 事業の実施状況		
<ul style="list-style-type: none"> ・体育指導委員事業により、ニュースポーツ(ファミリーバドミントン)教室を開催し、普及に努めました。 ・体育協会と連携を図り自治会対抗競技としてソフトボール大会、バレーボール大会を開催しました。 ・スポ・レクフェスティバルについては、文化的要素を縮小し、より純粹にスポーツ・レクリエーション種目を中心に計画していたが、台風による被災により中止となりました。 		
3 事業の効果等		
<ul style="list-style-type: none"> ・自治会体育部との協議の中では、自治会対抗競技について様々な意見を受けて議論を重ねたが、22年度の町内一周駅伝大会では数年ぶりに全自治会の参加で開催でき、スポーツ振興が図られました。 		
達成度評価	50%	(算出根拠)スポ・レクフェスティバルが中止となったため。
4 事業の課題・改善策・今後の方向性等		
<ul style="list-style-type: none"> ・パークゴルフについては、若年層への愛好者拡大に向けて、体育指導委員を主体として親子大会や三世代交流大会など実施方法を検討し、平成23年度の実施実現に努めます。 ・スポ・レクフェスティバルについては、昨年計画していた改革内容の実現に向けて、早めに調整を行うように努めます。 		
5 有識者の評価		
<p>十分であると評価します。</p> <p>自治会対抗競技が過度にならないようにしたい。</p>		

1 開成町教育振興基本計画に定める事業		
5 スポーツを支える指導者の育成 目標や取組の方向性 少年・少女スポーツ団体の育成、体育協会への支援・連携強化などを通じ、町民の生涯にわたるスポーツやレクリエーションを支える指導者や団体を育成します。 (具体的な施策) 「団塊の世代」の人材や人材バンクの登録者などを活用して、スポーツ教室の充実を図ります。 スポーツ・レクリエーションフェスティバルや各種スポーツ事業に、プロスポーツ経験者から構成される「かながわアスリートネットワーク委員」など、優秀な指導者を活用して、スポーツに対する町民の意識・関心を高めるよう努めます。		
2 事業の実施状況 ・町部局に所管が移り、調整に手間取った時期もあったが、団体との協議を進め、当番町として郡総体の開催を行うなど一定の成果が見られました。 ・スポ・レクフェスティバルは中止となったが、プロスポーツのOBや現役を招いての野球教室・ソフトボール教室を開成南小学校に会場を移して実施したところ、競技者のみならず指導者にも大変好評で、有意義な教室が開催できました。 ・体育協会の事業についても、水辺スポーツ公園の被災による影響で中止となる事業がありました。		
3 事業の効果等 ・学校体育施設利用団体調整会議を開催する中で、少年・少女スポーツ団体の指導者等を含め利用者の意見を聴取し、施設面を含めて細かな調整を図ることができました。 また、管理主体が変更されたことで、利用ルールを見直すことができました。 ・プロ選手OBからの指導を受け、一流の技術を間近で体感することができた参加者からは好評を得ました。		
達成度評価	90 %	(算出根拠) 調整会議の開催時期が若干遅れた。
4 事業の課題・改善策・今後の方向性等 ・次年度以降もかながわアスリートネットワーク委員を活用し元プロスポーツ選手等を講師として招へいし、種目に偏りが生じないように留意しながらスポーツ教室の充実を図ります。 ・中学校部活動への体育協会等からの指導者派遣の実現に向けて努めます。		
5 有識者の評価 中学校部活動への指導者派遣は、教育的な部活動となるよう学校サイドの考えを十分入れて考えるべきです。 水辺スポーツ公園の被災の復旧に中学生の参加は、任意参加とするなど参加体制の工夫をした方が良いでしょう。		

1 開成町教育振興基本計画に定める事業		
6 スポーツを行うための環境の整備		
<p>目標や取組の方向性</p> <p>パークゴルフ場の整備など開成水辺スポーツ公園の整備・活用促進及び指定管理者制度の導入、町民プール、南部コミュニティーセンターの活用促進、体育館、グラウンド等学校体育施設の活用促進、総合型地域スポーツクラブの設置の検討などを通じ、スポーツを行うための環境を整備します。</p> <p>(具体的な施策)* は、事業完了を示します。</p> <p>広域的なスポーツ交流について検討します。</p> <p>平成22年4月に開成水辺スポーツ公園に指定管理者制度を導入できるよう取り組みます。済</p> <p>開成水辺スポーツ公園の遊具の整備や管理棟内の自販機を増設するなど、公園利用者の利便性とサービス向上に努めます。</p> <p>自転車利用の促進を図るため、開成水辺スポーツ公園の周回道路の拡幅など、自転車利用施設の整備を検討します。</p> <p>地域のコミュニティの役割を担うスポーツクラブづくりを目指し、総合型地域スポーツクラブの設置に向けて調査・研究を行います。</p>		
2 事業の実施状況		
<ul style="list-style-type: none"> ・新設の開成南小学校の学校体育施設の一般開放を6月から開始しました。 ・指定管理者制度を本年度より導入した水辺スポーツ公園は、年度当初は指定管理者との細かな協議に時間を要することが多かったが、少しずつ運営が軌道に乗りはじめました。しかし、台風9号による被災により年度後半の事業はほぼ実施できず、施設の現状復帰に努め、3月末にグラウンド復旧整備を完了しました。 ・水辺スポーツ公園内の自転車利用施設の整備については、水害対策のため再考となりました。 		
3 事業の効果等		
<ul style="list-style-type: none"> ・開成南小学校の体育施設開放による施設増により、利用者のスポーツ機会の増進が図られました。 		
達成度評価	50%	(算出根拠)災害の影響により、水辺スポーツ公園の稼働日が半数となったため。
4 事業の課題・改善策・今後の方向性等		
<ul style="list-style-type: none"> ・水辺スポーツ公園は指定管理者により管理運営面が良好に整備されつつある。今後も指定管理者と連携を図り、新たな事業を加え更に有効な利活用を図ります。 ・平成23年度の体育施設の一般開放については、東日本大震災の影響による節電対策のため利用制限を行うこととなるが、利用者の理解・協力が得られるよう努めます。 ・総合型スポーツクラブの設立に向けては、実施主体・活動拠点の検討を行います。 		
5 有識者の評価		
ハプニングの連続で、50%の達成は仕方ない。		

<p>1 開成町教育振興基本計画に定める事業</p>
<p>7 基礎的・基本的な知識・技能の習得や理解の確立 目標や取組の方向性 個別学習、反復学習、子どもたちのつまずきやすい学習内容の指導の充実など子どもたちの発達や学年の段階に応じた指導の充実や読書活動の更なる推進などを通じ、子どもたちの基礎的・基本的な知識・技能の習得や理解を確立し、その活用を図ります。 (具体的な施策) 小学校及び中学校においては、全国学力・学習状況調査の結果などを踏まえ、基礎的・基本的な知識・技能の習得のみならず、習得した知識・技能を活用する力を育成するなど学力向上に努めます。 読書活動については、基礎的・基本的な知識の習得だけではなく、子どもたちの豊かな心の育成に効果があることから、学校図書館の本の整備などを通じ、読書活動の更なる推進を図っていきます。</p>
<p>2 事業の実施状況</p>
<p>平成22年4月に実施された全国学力・学習状況調査については、開成小学校6年生児童、開成南小学校6年児童、文命中学校3年生の生徒が参加(希望利用)をしました。各校において、採点・分析等を行い、児童・生徒にその結果の説明や問題の内容理解・定着を図りました。また、教職員は自らの授業を振り返り、授業改善につなげました。 文部科学省が定める学校図書館図書標準(学校図書館に整備すべき蔵書数の標準)の遵守を目指し、開成小学校、開成南小学校、文命中学校で学校図書館図書の整備を行いました。また、開成小学校では図書室を管理棟の1階に移設しました。 平成22年11月に、開成町子ども読書推進活動に基づき、「開成町子ども読書活動推進委員会」を開催し、保育園、町内幼小中学校、のびのび子育てルーム、町読書ボランティア団体、社会福祉協議会、町図書室、町保険健康課・教育委員会担当が参加する中で、子どもの読書活動を推進するための事業計画や進捗状況について協議しました。 開成幼稚園、開成小学校、開成南小学校、文命中学校においては、豊かな感性と確かな学力を育むために読書活動を推進しました。幼稚園においては、先生による日常的な読み聞かせや読み聞かせボランティアによる読み聞かせ、小中学校では朝読書を実施しました。</p>
<p>3 事業の効果等</p>
<p>平成22年4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果は、小学校国語の正答率は、A問題(知識・技能)は、国や県と比較してやや高い傾向にあること、B問題(活用)はほぼ同じ傾向にあること、小学校算数の正答率は、A問題(知識・技能)は、国や県と比較してほぼ同じ傾向にあること、B問題(活用)は国や県と比較して高い傾向にあること、中学校国語の正答率は、A問題(知識・技能)B問題(活用)ともに低い傾向にあること、中学校数学の正答率は、A問題(知識・技能)B問題(活用)ともにやや低い傾向にあることがわかりました。ただし、中学校においては、小学校6年時の正答率と比較し、国や県の正答率との開きが縮まりました。</p>

各園・学校での朝読書や読み聞かせを推進、ならびに開成小学校の図書室の移築などにより、子どもたちの読書への関心は次第に高まり、読書量は増加傾向にあります。

達成度評価	80%	(算出根拠)
-------	-----	--------

4 事業の課題・改善策・今後の方向性等

全国学力・学習状況調査については、国の方針を踏まえつつ、引き続き実施します。例えば、基礎的・基本的な知識や技能の確実な習得を図りその活用を図るための判断力、思考力、表現力等を育む授業の実施、子どもたちに明確な学習目標を提示すること、国語学習への動機付けを通じた読解力の育成、問題解決的な課題や発展的な課題を通じた活用力の育成などの指導方法の改善などに、本調査を活用していきます。

平成22年は国民読書年であることを踏まえ、各園・学校での取組につなげました。オーサービジット[子どもたちに人気の本の作者(オーサー)が、各地の学校を訪問(ビジット)する読書推進プロジェクト]については、応募はしたものの選ばれず、実現はできませんでした。来年度は、園長校長会での提案を受け、開成町では毎月1日を「開成ファミリー読書デー」とし、読書活動のさらなる推進を図ります。

子どもたちが自ら調べ学習ができるように、学校図書館や町民センターの図書室の使い方指導を充実したり、学校図書館と町民センターの図書室の連携などの取組をさらに進めたりしていきます。

5 有識者の評価

小学校、中学校ともに落ち着いた雰囲気为学校運営が見られ、その結果だと思えます。学力調査結果は、単に県全体、国全体との比較だけでなく、経年比較するなど広く評価しようとしていることがすばらしい。

1 開成町教育振興基本計画に定める事業
<p>8 学習意欲の向上や学習習慣の確立</p> <p>目標や取組の方向性</p> <p>「聴いて、考えて、伝える」ことのできる力を育成するための授業改善、観察・実験やレポートの作成、論述など知識・技能を活用する学習活動の充実などを通じ、子どもたちの思考力・判断力・表現力等を育成するとともに、予習・復習などの家庭学習の奨励を通じ、子どもたちの学習意欲を向上させるとともに学習習慣を確立します。</p> <p>(具体的な施策)* は、事業完了を示します。</p> <p>子どもたちの思考力・判断力・表現力等の育成、学習意欲の向上や学習習慣の確立を重視した新しい小学校学習指導要領及び中学校学習指導要領が公示されたことを踏まえ、平成21年度から開始される新しい学習指導要領の移行期間において、適切な教育課程の編成を実施していきます。済</p> <p>小学校及び中学校においては、子どもたちの興味・関心・意欲を引き出すために、教員が十分な授業や教材の研究のもとで毎日の教育活動を工夫して進め、子どもたちの学ぶ気持ちを育てます。</p> <p>全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえ、広報などを通じ、家庭学習の在り方について、家庭に呼びかけます。</p> <p>放課後において、地域の多様な方々の協力を得て、子どもたちが学習を行う放課後子ども教室の導入について検討します。</p>
2 事業の実施状況
<p>子どもたちの思考力・判断力・表現力等の育成、学習意欲の向上や学習習慣の確立を重視した新しい学習指導要領が平成23年度から小学校で、平成24年度から中学校で完全実施されることを踏まえ、移行期間に準じた学習内容を開成小学校・開成南小学校や文命中学校で実施しました。</p> <p>開成小学校では、「自分の思いや考えをいきいきと表現し、学ぶ楽しさを味わえる授業をめざして」、開成南小学校では「言語活動の充実をめざして」校内研究を行い、全教員が研究授業を行う中で、子どもたちの学びを見取り、授業方法の改善等に活かしました。また、教育委員会として、校内研究会に、指導主事を派遣し、教員の指導・助言に努めました。</p> <p>文命中学校では、わかる授業を中心に、各教科で学習指導法の改善に努めました。</p> <p>開成小学校・開成南小学校・文命中学校では、家庭学習の習慣化、学力の定着を目指し、宿題を計画的に出すように努めました。</p> <p>放課後子ども教室については、平成22年10月に開成町社会教育委員会議より答申を受け取り実施に向け検討しています。</p>
3 事業の効果等
<p>全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙の調査結果を分析すると、特に、小学校では、自宅で予習・復習している児童が多いことがわかるなど、学校の教職員の取組により、子どもたちの学習意欲の向上や学習習慣が少しずつ確立していることが明らかになりました。</p>

全国学力・学習状況調査の実施を通じ、開成町の児童生徒の状況を全国、神奈川県と比較して、把握・分析することができ、教員の授業改善、教科指導の充実などに、つなげることができました。

達成度評価

80%

(算出根拠)

4 事業の課題・改善策・今後の方向性等

子どもたちの学習意欲の向上や学習習慣の確立については、非常に重要な課題であり、引き続き、学校と協力しながら、取組を進めていきます。また、家庭に対し、家庭内での宿題・予習・復習の実施の必要性など、学習習慣が確立できるように教育委員会として呼びかけていきます。

放課後子ども教室については、答申をもとに平成23年度に教育委員会で検討し、平成24年度に実施の方向です。

5 有識者の評価

放課後子ども教室の実施は、是非実現してほしい。

小中学校とも今後の発展を信じ、学校の経営方針にまかせ、理解・協力すればよいと思います。

<p>1 開成町教育振興基本計画に定める事業</p>
<p>9 体育や食育の充実</p> <p>目標や取組の方向性</p> <p>幼いころから体を動かすなど体力の向上及び健康の保持・増進策の充実や家庭科や技術・家庭科における望ましい食習慣の形成の学習などを通じ、体育・食育を充実します。</p> <p>(具体的な施策)</p> <p>幼稚園においては、いろいろな遊びの中で十分に体を動かし、その楽しさを感じることや友達と楽しく食事をするなどの食に関する活動を通して、幼児の心身の健やかな成長を増進します。</p> <p>小学校、中学校においては、平成22年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査などを踏まえ、体育科や保健・体育科において、子どもたちに体を動かすことの喜びを味わわせるとともに大切さを認識させ、運動能力や体力の向上に取り組みます。</p> <p>小学校、中学校においては、家庭科、技術・家庭科、給食の時間等を通じて、望ましい栄養や食事の摂り方、正しい知識・情報に基づいて食品の品質及び安全性等について自ら判断できる能力、食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々へ感謝する心、望ましい食習慣の形成、地元の産物等を理解することなどを総合的に育みます。</p>
<p>2 事業の実施状況</p>
<p>平成21年4月から、幼稚園教育要領が完全実施になったことを踏まえ、幼稚園では、先生や友だちと食べることを楽しんだり、十分に体を動かす気持ちよさを体験したり、自ら体を動かそうとする意欲を育んだりする保育を推進しました。</p> <p>全国体力・運動能力、運動習慣等調査を踏まえ、小・中学校では、子どもたちの運動能力や体力の向上に努めました。また、神奈川県「児童生徒健康・体力づくり推進事業」の指定を受け、健康・体力づくりの年間計画の作成、教科体育の充実、朝運動の実施、思い切り遊べる時間の確保など、様々な取組を進めました。</p> <p>開成幼稚園、開成小学校、開成南小学校、文命中学校では、年間指導計画に基づき、食育の推進に取り組みました。幼小中ともに1月には、給食週間に合わせて、「黒米ごはん」と「だんご汁」などの郷土料理を出して、郷土料理について見直す機会を持ちました。</p> <p>開成南小学校では、給食の調理等の作業場を児童が通る廊下から見えるように設計されており、児童は調理や片付けの様子を日常的に見ることができます。</p>
<p>3 事業の効果等</p>

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の開成町の結果は、子どもたちの体力の状況は、小学校では国や県と比較して跳躍力や握力はやや高い傾向、中学校では国や県と比較して握力がやや低い傾向にあります。

日常的な給食指導を通して、また調理室の可視化（開成南小学校）等によって、食への関心（食材の産地や栄養、働く人や食材への思い等）は高まりつつあります。

達成度評価	60%	(算出根拠)
-------	-----	--------

4 事業の課題・改善策・今後の方向性等

新しい学習指導要領において体育・健康に関する指導については、体力が人間の活動の源であり、健康の維持のほか、意欲や気力といった精神面の充実に大きくかかわっており、生きる力を支える重要な要素であることから、重視されています。町では、引き続き、指導内容の明確化・体系化、体力向上の重視、運動の取り上げ方の弾力化、体づくり運動など、教科体育の充実を図ります。

心身の健康や体づくりと食の関係を児童生徒が関心を持って学び、学んだことを実践できるよう食育をさらに推進していきます。

5 有識者の評価

食育に関しては、学校だけでは不十分です。家庭の保護者を巻き込んだ食育教育が理想だと思います。親子で料理する（特に父親）事も関心を深める一つだと思います。

<p>1 開成町教育振興基本計画に定める事業</p>
<p>10 保・幼・小・中・高等学校の連携</p> <p>目標や取組の方向性</p> <p>小・中学校の9年間を見通した教育課程の編成、幼稚園・学校の連携による小1プロブレムや中1ギャップへの対応、幼稚園・学校と神奈川県立吉田島総合高校等との連携強化、個人情報の取扱いに留意した上での学校間における子どもたちの情報の共有化などを通じ、保・幼・小・中・高等学校が連携した教育を推進します。</p> <p>(具体的な施策)</p> <p>「幼・小・中・高連携事業」について、内容の充実や参加者の増員などを検討します。</p> <p>子どもたちに対し、きめ細かな対応を行うとともに不登校やいわゆる中1ギャップなどの問題に取り組むため、引き続き、個人情報の取扱いに留意した上で、保育所・幼稚園と小学校、小学校と中学校など、学校間における子どもたちの情報の共有化を図り、子どもの個々の支援シートを活用するなど、円滑な接続を目指します。</p> <p>保育所と園・学校との交流を深めるなど、連携について取り組んでいきます。</p> <p>吉田島総合高校が平成22年から「個を活かす多様な教育」、「特色ある教育活動の展開」、「特別活動の活性化・ガイダンス機能の充実」を基本コンセプトとして、総合高校に再編されたことを踏まえ、より地域と密着した連携や交流を深めていきます。</p>
<p>2 事業の実施状況</p>
<p>年間を通じて、幼・小・中・高連携事業の取組を行っており、各園・各校の研究会への参加、夏休みものづくり教室（小田原城北工業高校にて7月30日、8月21日に実施）、うどんづくり体験学習（吉田島総合高校にて8月10日実施）クッキーづくり体験学習（吉田島総合高校にて8月13日に実施）、野菜・果物の甘さ比べ体験学習（吉田島総合高校にて8月23日に実施）、文命中学校文化祭への幼稚園幼児、小学生児童、高校生の作品出品（9月26日に実施）、文命中学校吹奏楽部の幼稚園幼児へのコンサート（福祉会館にて9月27日実施）、卒業式用の花の育成（吉田島総合高校）、中学生保育体験（2月17日）、文命中学校夏期オープン講座：ゴム動力模型飛行機づくり、ソフトテニス教室、卓球教室、男子バレーボール教室、プラネタリウム教室（7～8月に実施）などの様々な取組を実施しました。</p> <p>スムーズに保育園児や幼稚園児が小学校に進級し、いわゆる小1プロブレムを防ぐために、平成23年3月に幼稚園教員や保育園職員が小学校を訪問し、子どもたちの長所や配慮点などに関し、情報交換を実施しました。</p> <p>いわゆる中1ギャップを防ぐために、平成23年3月に開成小学校・開成南小学校6学年教員が文命中学校を訪問し、長所や配慮点をはじめとした子どもたちの特徴などに関し、情報交換を実施しました。</p>

3 事業の効果等		
<p>幼・小・中・高の連携事業の夏の体験学習を通して、参加した小中学生は、熱心に指導してくれる吉田島総合高校の高校生に対して、親しみやあこがれを持ちました。また、高校生にとっては自分たちで育てた野菜や果樹等を説明する良い機会にもなりました。</p> <p>保・幼・小・中のきめ細やかな子どもたちの情報交換を実施したことにより、円滑な学校運営に資することができました。</p>		
達成度評価	100%	(算出根拠)
4 事業の課題・改善策・今後の方向性等		
<p>平成22年度より、吉田島農林高校が総合学科の高等学校に改編されることになったため、今年度は林業体験学習が行えなくなりました。今後についても地域連携という今まであった高校側の連携の母体がなくなるため、様々な事業の実施が不透明なところがあります。今後の幼・小・中・高連携事業担当者会議を通じて、事業の在り方を再検討する必要があります。</p> <p>国の中央教育審議会答申において、学校間の連携をより密にしていくことが提言されており、今後とも学校間で連携を強化できるよう、幼・小・中・高連携事業等を通じて、取り組んでいきます。また、保育園との連携についても今後、充実させていく必要があります。</p>		
5 有識者の評価		
<p>保・幼・小・中・高の連携が盛んに行われているのは、評価できます。</p> <p>開成町の連携は、良いほうだと思います。</p> <p>今後も無理のない範囲で取り組んで欲しいと思います。</p>		

<p>1 開成町教育振興基本計画に定める事業</p>
<p>1.1 幼児教育の充実</p> <p>目標や取組の方向性</p> <p>「のびのびルーム」(3歳児と保護者及び弟妹を対象に、3歳児の健やかな成長を支援し、就園前の子どもを持つ保護者が子育ての喜びを共感できる仲間作りの場にする)とともに、子育ての不安や悩みを相談できる場にするために、週1回どんぐり会館において、うたや 手遊び、紙芝居、絵本、体操、芋掘り、子育て相談、おたのしみ会などを行う。開成町の子育て支援事業)を活用した子育て支援の充実、3歳児保育、あずかり保育の検討、幼稚園教員の処遇の適正化の検討などを通じ、幼児教育を充実します。あわせて、これらのサービスに見合う入園料や保育料の取扱いについて検討します。</p> <p>(具体的な施策)* は、事業完了を示します。</p> <p> 新しい幼稚園教育要領に対応した幼稚園教育を平成21年度から開始します。済</p> <p>「のびのびルーム」事業の実施や臨床心理士の派遣などを通じ、子育て支援を充実します。また、現在、実施していない3歳児保育、あずかり保育の在り方について検討を行います。</p> <p>中央教育審議会の審議を踏まえ、幼稚園教員の処遇の適正化について、検討を行います。幼稚園の入園料や保育料については、現状のサービスに見合うように、平成21年度中に改訂の検討を行います。</p> <p>「のびのびルーム」については、現在、保険料の保護者負担のみで実施していますが、現状のサービスに見合うように、平成21年度中に教材費等の保護者負担の検討を行います。</p>
<p>2 事業の実施状況</p>
<p>平成22年度は「のびのびルーム」を活用した成長支援や臨床心理士による子育て相談を行うなど、更なる子育て支援を行いました。</p> <p>他にも、保護者のニーズを踏まえた預かり保育や3年保育、第二幼稚園の新設の検討も含めた幼稚園施設の環境の改善、保育の充実に伴う人的配置計画、適切な保育料・入園料の在り方などについて、総合的に検討を行う「幼稚園教育改革検討委員会」を設置しました。</p> <p>「幼稚園教育改革検討委員会」では、4回の会議や現場視察を行い、認定こども園にかかる情報収集等を行うとともに、開成町での幼稚園等の現状を共有しつつ、幼稚園教育の充実について検討を重ねております。</p> <p>しかしながら、今現在、国が「幼保一体化ワーキングチーム」において、幼稚園・保育所の一体化を進めている最中であり、この動向によっては、幼稚園教育そのものの在り方が変わってくる可能性があるため、後の国の動向を踏まえつつ、引き続き、検討委員会にて『幼児教育の充実』について慎重に検討を進めていく必要があります。</p>

3 事業の効果等		
<p>「のびのびルーム」における子育て支援活動は、参加者から、「親子共に相談ができた」、「子育ての相談ができた」、「集団生活の経験ができた」、「幼稚園の様子がわかって良かった」、「家では見られない我が子の一面がわかった」、「瀬戸屋敷や福祉会館、開成水辺スポーツ公園など町の施設を知ることができた」、「自分の子育てに役立った」、「母親として精神的にやすらぎの場となった」、「子どもがのびのびに行くのを非常に楽しみにしていた」など声が寄せられ、大変評価を得ています。</p> <p>また、「幼稚園教育改革検討委員会」では、開成町の幼稚園教育の現状を把握及び検討しており、幼児教育の充実に資するほか、今後の国の動向(市町村新システム事業計画(仮称)の策定等)にも対応できるよう、努めています。</p>		
達成度評価	100%	(算出根拠)国の動向が不明瞭のため平成22年度の段階でできることを実施した
4 事業の課題・改善策・今後の方向性等		
<p>平成23年度は「幼稚園教育改革検討委員会」において、国の動向を踏まえつつ、保護者のニーズを踏まえた預かり保育や3年保育の実施の検討、第二幼稚園の新設の検討も含めた幼稚園施設的环境改善、保育の充実に伴う人員増も見据えた人員配置計画、適切な保育料・入園料の在り方などについて、しっかりと結論を出せるよう、議論を行っていく必要があります。</p>		
5 有識者の評価		
<p>幼稚園教育改革検討委員会の結果を、今後の幼児教育全般の発展、充実に生かして欲しいと思っています。</p> <p>幼児教育の充実のためには、子どものしつけ、健康管理、食事の大切さの指導について親への啓発も必要と思います。</p>		

1 開成町教育振興基本計画に定める事業		
1 2 特別な支援を必要とする子どもたちへの教育の充実 目標や取組の方向性 特別支援教育及び外国人児童生徒への教育の推進などを通じ、特別な支援を必要とする子どもたちへの教育を充実します。 (具体的な施策) 障害など配慮を要する子どもたちの数が増加していることから、生活支援員の配置・派遣事業などを通じて、子どもたちへのきめ細かな学習指導や生活指導を充実します。 外国人児童生徒に対する教育については、引き続き、母語を話せる支援員の配置など、きめ細かな指導を行っていきます。		
2 事業の実施状況 子どもたち一人ひとりの個に応じた指導を行っていくために、開成幼稚園においては、介助教諭を1名、生活支援員2名、開成小学校においては、低学年授業補助員1名、生活支援員を3名、開成南小学校においては、低学年授業補助員1名、生活支援員を3名、文命中学校においては、授業補助員を1名配置しました。 文命中学校においては、中国語を母国語とする生徒及びポルトガル語を母国語とする生徒に適切に対応するために、母国語を話すことができる支援員2名を学校に派遣しました		
3 事業の効果等 介助教諭、生活支援員、学習支援員の配置により、特に支援が必要な幼児児童生徒に対し、きめ細やかな教育や指導を実施できるとともに、多忙を極める学校現場の先生方からも大変評価が高い事業となっています。 外国人児童生徒のみならず、その保護者への対応も母国語支援員が対応しており、日本の学校生活への円滑な適応について、成果を上げています。		
達成度評価	95%	(算出根拠)一部の支援員の配置が遅れたため
4 事業の課題・改善策・今後の方向性等 幼稚園、学校への人的配置については、学校側の要望が非常に大きいものであり、引き続き、支援が必要な園児・児童・生徒を的確に把握を行い支援員の配置等を通じ、きめ細やかな教育を実施し、特別な支援を必要とする子どもたちへのサポートを充実していく必要があります。 特別支援教育に対する教員の研修を担当教員だけでなく全教職員に充実する必要があります。 中国籍の児童生徒が最近増加しており、今後とも、外国人児童生徒への適切な対応を図っていく必要があります。 就学相談、指導をさらに充実させ有効な支援等を保護者とともに構築していきます。		
5 有識者の評価 介助員、支援員の配置等の町単独の職員を配置され、以前に比べ大変充実し、現場は助かっている。 今後も十分配慮して下さい。		

1 開成町教育振興基本計画に定める事業		
1.3 学校教育施設の整備 目標や取組の方向性		
<p>開成南小学校を平成22年4月に計画通り開校するために、校舎建設工事をはじめとしたインフラの整備、備品・教材等の調達準備、校歌・校章の決定、学校の教育目標、経営方針、学校行事年間計画、各種指導計画、週時程表等の策定、必要となる教職員の確保などを進めます。また、併せて、順次、環境に配慮しながら子どもたちの学習環境を整備する観点から、開成幼稚園、開成小学校、文命中学校を改修します。</p> <p>(具体的な施策)* 〇〇は、事業完了を示します。</p> <p>開成南小学校を平成22年4月に計画通り開校するために、教育委員会、町部局、建設会社、区画整理組合等関係者が緊密な連携を図りながら、建設工事を行います。済</p> <p>開成南小学校の備品・教材等については、平成22年4月の開校に備え、整備します。済</p> <p>校歌・校章、学校の教育目標、経営方針、学校行事年間計画、各種指導計画、週時程表等や通学路の取扱いについては、平成22年4月の開校に備え、準備を行います。済</p> <p>開成南小学校に必要な教職員の配置については、神奈川県教育委員会と緊密な連携を図りながら、準備を行います。済</p> <p>開成小学校の改修については、現下の町の大変厳しい財政状況を踏まえ、町部局と調整を図るとともに、開成町学校施設等建設委員会の検討を参考にしながら、校舎の改修計画、余剰教室の利用方法、子どもたちの教育環境の在り方などを整理し、改修計画の方針や具体的な改修計画を定めていきます。</p> <p>幼稚園、中学校については、園・学校の状況を踏まえつつ、町部局との調整を図りながら、必要な改修等を行っていきます。</p>		
2 事業の実施状況		
<p>開成南小学校については、4月5日開校記念式典及び第1回入学式を開催し、適切に教職員を配置し計画的な学校運営が図られ、運営状況に合わせ運動会用品やプール用品等を整備しました。</p> <p>開成小学校の改修については、平成21年度に策定した基本計画に基き、図書室を北棟から校舎棟に移転工事を実施し、平成23年度予定工事の実施設計を実施しました。</p> <p>文命中学校については、バリアフリーの観点から、エレベーターの設置を中心とした改修工事を実施しました。10月29日には完成式を開催しました。</p> <p>幼稚園教育改革検討委員会を設置し、平成22年度は4回開催し、第二幼稚園の新設の検討も含めた幼稚園施設の利用環境の改善などについて、総合的に検討を始めました。</p> <p>(平成23年度まで継続)</p>		
3 事業の効果等		
<p>開成南小学校の開校、既存学校の改修等を進めることで、子どもたちが安心して落ち着いた環境の中で学習することができ、子どもたちの教育環境の向上につながります。</p>		
達成度評価	100%	(算出根拠) 予定どおり完了
4 事業の課題・改善策・今後の方向性等		
<p>既存幼稚園、学校については、学校の教職員、保護者、子どもたちのニーズを踏まえなが</p>		

ら、改修を行っていく必要があります。特に、平成23年度からは、開成小学校の大規模改修計画について着実に工事を進めていく必要があります。また、開成幼稚園については、幼稚園施設の整備なども含め、幼児教育改革検討委員会でしっかりと議論していきます。

5 有識者の評価

開成幼稚園、開成小学校、文命中学校の改修を順次進めることが必要となっている。

<p>1 開成町教育振興基本計画に定める事業</p>
<p>1 4 新学習指導要領への対応</p> <p>目標や取組の方向性</p> <p>小学校外国語活動の指導者、理科実験・実習用備品等の整備、和楽器、武道用具等の整備など、新学習指導要領に対応した子どもたちの教育条件を計画的に整備します。</p> <p>(具体的な施策)</p> <p>新幼稚園教育要領、新小学校学習指導要領及び新中学校学習指導要領に対応するために、小学校の外国語活動などの教材、理科の教材・備品、算数・数学の教材、音楽における和楽器等必要とされる教材、備品などを整備します。</p> <p>新学習指導要領に適切に対応するために、条件を整備した上で、例えば、中学校の外国語指導の教員が小学校で教えるなど、小学校の教員と中学校の教員の人事交流や外国語に堪能な地域人材の活用を検討します。</p>
<p>2 事業の実施状況</p>
<p>平成23年度から完全実施される小学校学習指導要領及び平成24年度から完全実施される中学校学習指導要領に対応するために、必要な教材・備品は購入しました。</p> <p>[平成21年度]</p> <p>小学校での外国語活動(えいごりあんなどのDVD教材)、社会(都道府県地図等)、国語(ローマ字の綴り方など)、国の補正予算を活用した算数・数学、理科に関する教材・備品(コンパス、数直線、顕微鏡、光電池学習セット、てこのはたらき実験機、誘導コイル、放射温度計、デジタル温度計、衝突実験装置、月・金星見え方説明モデルなど)、電子黒板(小学校、中学校で計3台)、地上デジタルテレビ(幼稚園、小学校、中学校で計14台)</p> <p>[平成22年度]</p> <p>数学、理科に関する教材・備品(小型真空ポンプ、双眼実体顕微鏡、方眼黒板)</p> <p>平成21年度より、中学校外国語の教員免許を有する教職員を開成小学校教頭に配置しました。小学校における外国語活動について、本教頭が教員に対する研修を行うなど、指導的な立場を発揮しました。また、開成小学校、開成南小学校に5、6年生の外国語活動に外国人講師の指導助手(ALT)を配置し、35時間全ての授業に担任とともに指導に入れるようにしました。</p>
<p>3 事業の効果等</p>

平成23年度から完全実施される小学校学習指導要領及び平成24年度から完全実施される中学校学習指導要領に対応するための教材、備品の購入、人的配置などを通じ、児童生徒の教育環境の向上につながりました。

達成度評価	90%	(算出根拠)準備の進捗状況
4 事業の課題・改善策・今後の方向性等		
<p>小学校及び中学校の学習指導要領の完全実施が近づいており、今後とも、必要な教材・備品等は計画的に購入していく必要があります。特に、中学校の武道(柔道)の実施に備え、畳等の備品を購入していく必要があります。(平成23年度に購入予定)</p> <p>小学校外国語活動については、今後もカリキュラムや指導方法等研修を重ねていく必要があります。</p> <p>また、5・6年生以外の学年での実施についても検討する必要があります。</p> <p>教材の効果的な使い方について、教員がしっかりと把握する必要があります。</p> <p>授業時数の確保と児童生徒の生活や学びの状況との関連について検討していく必要があります。</p>		
5 有識者の評価		
計画的準備のもと教材購入や学校の新学習指導要領への移行もスムーズに出来ていると思います。		

1 開成町教育振興基本計画に定める事業
<p>1.5 教職員や学校教育を支える人材への支援の充実 目標や取組の方向性</p> <p>幼稚園教員の人事交流の推進など教職員研修の充実、校長権限の強化や裁量の拡大、業務の効率化を通じた教員の子どもたちと向き合う時間の確保、教職員の健康管理の徹底などを通じ、教職員の資質能力を高めるなど教職員への支援を充実します。あわせて、人材確保の観点から設置されている教職員住宅の取扱いについて検討します。</p> <p>(具体的な施策)</p> <p>幼稚園教員については、近隣市町の幼稚園の教員との人事交流を促進するなど、幼稚園教員の研修の充実を図ります。</p> <p>幼稚園、小学校、中学校の予算については、園長、校長の決裁権限を強化できるよう検討します。</p> <p>幼稚園、小学校、中学校については、新しく導入した教職員用の個人パソコンの積極的な活用や教員の研究会の在り方などの見直し等を通じ、教職員の子どもたちと向き合う時間を確保するよう指導します。</p> <p>教職員の健康管理については、(仮称)開成町立学校教職員衛生委員会を平成21年度中に立ち上げ、子どもたちの学びを支える教職員の健康管理を徹底します。</p>
2 事業の実施状況
<p>平成22年度からは、財務会計で決裁権限を付与し、事務の簡素化及び効率化を諮りました。(学校長50万円以下、園長30万円以下)</p> <p>校務用パソコンについて、平成22年4月開成南小学校の開校に合わせて、開成小学校から一部校務用パソコンを移設し、新規に10台購入して、全ての園学校に配備し、運用上のトラブルを解決するため、支援業務を実施しました。</p> <p>(幼稚園 10台、開成小学校 32台、開成南小学校 26台、中学校 31台 計99台)</p> <p>教職員の安全及び健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進するため、平成21年度から引き続き、産業医を設置するとともに、希望する教職員に面談を行い、健康面での指導を実施しました。また、教育委員会においても教員の超過勤務状況について、把握するようにしました。</p> <p>平成22年4月から、開成町立小中学校経営支援室を設置し、教員等の業務軽減を実施しました。</p> <p>町教育委員会において、学校に対する調査物の内容を精選しました。</p>
3 事業の効果等
校務用パソコンの配備、校長権限の強化、調査類の精選などを通じ、教員の子どもたち

と向き合う時間の拡大につながりました。

産業医の雇用や町立学校教職員安全衛生管理に関する要綱の制定等に伴い、教職員の超過勤務状況の把握を開始するなど、教職員の安全及び健康を確保しました。

達成度評価	90%	(算出根拠) 産業医の面談を拡大する必要性、学校経営支援室の課題等により
-------	-----	--------------------------------------

4 事業の課題・改善策・今後の方向性等

教職員については、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努める必要があり、教職員研修の充実を行う必要があります。

教職員に対する課題や要請は増えており、超過勤務の多い教員への対応として、教職員の健康管理の徹底に努める必要があります。

教員の子どもたちと向き合う時間を確保するため、学校事務の効率化や学校事務職員の資質向上を図っていく必要があります。

5 有識者の評価

産業医と相談する時間をどう見いだすかが課題である。

教員と子どもたちと向き合う時間を確保するための取り組みは、大変良いことだと思う。

<p>1 開成町教育振興基本計画に定める事業</p>
<p>1 6 子どもたちの安全・安心の確保</p> <p>目標や取組の方向性</p> <p>防災、防犯やバリアフリー対策等のために必要な学校施設や安全マニュアル等の整備、登校指導の充実等を通じ、子どもたちの安全・安心を確保します。放課後における子どもの居場所作りの検討を通じ、放課後における子どもたちの安全な活動の拠点を設けます。</p> <p>(具体的な施策)</p> <p>学校施設のバリアフリーについては、現下の町の大変厳しい財政状況を踏まえて対応する必要があり、導入について優先順位をつけながら検討していきます。</p> <p>町が実施する防災や防犯等に関する危機管理職員研修講座に、学校の教職員が参加し、危機管理の意識を高めます。</p> <p>開成町学校・地域安全推進委員会の活動を活性化するために、広報活動の強化等を通じ、住民に対し各種活動の周知を図り、例えば、登校指導などの取組により多くの住民の参加を促します。また、防犯ブザー、パトロールベスト、新入生用ランドセルカバーなどの充実を通じ、子どもたちの安全・安心を確保します。</p> <p>平成22年4月に開成南小学校が開校し、開成小学校に余裕教室が発生することを踏まえ、子どもたちの安全な学習活動の拠点を設けるために、実施日、時間、場所、運営体制や実施内容等を検討し、放課後子ども教室の導入を検討します。また、導入に当たっては、学童保育との調整を図ります。</p>
<p>2 事業の実施状況</p>
<p>開成南小学校については、エレベーターやバリアフリーの環境を児童の安全安心のために活用しました。文命中学校については、バリアフリーの観点から、エレベーターの設置等の改修工事を平成22年度に実施しました。</p> <p>幼稚園、小学校、中学校においては、神奈川県くらし安全指導員を招いて、防犯ブザーの使用の仕方や不審者対応などの研修を行い、教職員や子どもたちの危機管理の意識を高めました。</p> <p>開成町学校・地域安全推進委員会を通じて、登校指導への参加を町民に依頼しました。開成南小学校の通学区の自治会では、独自に平成22年4月から、住民による子どもたちの見守りが実施されました。</p> <p>パトロールベストの配布(年間36枚、合計配布数884枚)、新入生用の防犯ブザーやランドセルカバーの購入を通じ、子どもたちの安全・安心に努めました。</p> <p>インフルエンザ(B型)の発生に対応し、町教育委員会として、昨年度作成した学校の対応マニュアルを活用しました。</p>
<p>3 事業の効果等</p>
<p>様々な観点から、施策や取組を実施し、子どもたちの安全・安心な教育環境の向上に資</p>

<p>することができました。登下校時や学習時の大きなけがや事故もありませんでした。</p>		
<p>達成度評価</p>	<p>90%</p>	<p>(算出根拠)</p>
<p>4 事業の課題・改善策・今後の方向性等</p>		
<p>文命中学校のバリアフリーについては、エレベーターの設置、「みんなのトイレ」の設置、誘導ブロックの設置、スロープ改修などの工事が予定どおり完了しました。</p> <p>開成小学校大規模改修の実施設計において、バリアフリーの観点も含め、改修の検討を行っていく必要があります。</p> <p>各団体には、1、15日の登校指導の日以外にも登下校の見守りをお願いしているところです。町全体で子どもたちの安全を確保する観点から、子どもたちの見守りを、より多くの日に行っていくための呼びかけや体制の整備をさらに図る必要があります。</p>		
<p>5 有識者の評価</p>		
<p>文命中学校のバリアフリーの工事完了により、生徒がスムーズに学習できるようになりました。</p> <p>防災対策について具体的に指導はされていると思いますが、子ども達の安全を確保するには、常に最悪の事態を考えて防災対策を考えるべきだと思います。</p>		

1 開成町教育振興基本計画に定める事業											
17 子どもたちの健全育成											
<p>目標や取組の方向性</p> <p>ジュニアリーダーの育成や研修会の充実、体験学習やボランティア活動の推進、青少年指導員連絡協議会、子ども会、青少年健全育成会等の活動の支援を通じ、地域を担う青少年の人材を育成します。</p> <p>学校地域安全推進委員会などの活動の充実、警察などの関係機関・近隣市町との連携強化などを通じ、犯罪から青少年を守るとともに、青少年犯罪を未然に防ぎます。</p> <p>(具体的な施策)</p> <p>青少年の健全育成を図るため、異世代間交流の推進や地域教育力の向上や青少年関係団体や自治会との連携・協力体制の充実に努めるとともに、警察等の関係機関と連携します。</p> <p>青少年、青少年団体がボランティア活動や町のイベント・行事に参加できるよう、活動の場や情報提供など社会参加を促進します。</p> <p>中学生地域交流ゲートボール大会や瀬戸屋敷等を活用した宿泊体験事業などの充実を図るとともに、青少年関係団体や地域住民と子どもたちが交流できる機会を増やします。</p>											
2 事業の実施状況											
<p>青少年の健全育成を図るため、青少年関係団体とともに夏休みパトロールを神社の祭礼時などに実施しました。</p> <p>青少年指導員の活動として、ジュニアリーダーサマーキャンプを7月に2泊3日の日程で、国立中央青少年交流の家で開催し、52人が参加しました。</p> <p>青少年、青少年関係団体がボランティア活動や町のイベント・行事に参加できるよう広報活動を行いました。</p> <p>地域住民と子どもたちとの交流事業として、毎年、中学生地域交流ゲートボール大会を実施しています。平成22年度は、21チーム168人の参加により交流を深めました。</p> <p><参考>子ども会育成会の加入状況</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>会員数(加入率)</th> <th>児童数(毎年5/1現在)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成22年度</td> <td>608人(55.6%)</td> <td>1,094人</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>646人(60.0%)</td> <td>1,077人</td> </tr> </tbody> </table>				会員数(加入率)	児童数(毎年5/1現在)	平成22年度	608人(55.6%)	1,094人	平成21年度	646人(60.0%)	1,077人
	会員数(加入率)	児童数(毎年5/1現在)									
平成22年度	608人(55.6%)	1,094人									
平成21年度	646人(60.0%)	1,077人									
3 事業の効果等											
子どもたちが、日頃、お年寄りと関わりが少なくなっている環境の中で、地域での交流を深めるゲートボールを実施することで、その機会の提供になりました。											
達成度評価	100%	(算出根拠)									
4 事業の課題・改善策・今後の方向性等											
子どもたちにより多くの体験機会が与えられるよう努めるとともに、団体活動の支援を通じ、青少年の健全育成に向け、環境整備を推進します。											

子ども会育成会の状況をみると、「塾に通っている」「子どもたちが野球・サッカーなど少年スポーツ団体に加入している」「両親が共働きで忙しい」などの理由から加入率が減少しています。地域住民との交流、ジュニアリーダーの人材育成、ボランティア意識の向上など、子どもたちにとって大事な教育的な要素があるので、「子ども会への加入」について促進します。

平成22年度に町部局に自治活動応援課が発足したことにより、地域との協働を推進する中で、子どもたちとの交流機会を増やしていく必要があります。

5 有識者の評価

地域で子どもたちを見守る体制が出来ているので、今後一層充実して欲しい。子供会育成会の加入率の減少には、それぞれの家庭の問題もあると思うが子供会の活動内容にも再検討する必要があると思う。例えば、親が加入させたいと思うような子供会活動を考えてみてはどうでしょう。

子供会の存続のためには、スポーツ団体との十分な打ち合わせ、協力が必要だと思います。その為の調整機関が。例えば、自治活動応援課との調整が必要です。

<p>1 開成町教育振興基本計画</p>
<p>1 8 学校給食における食品の安全確保 目標や取組の方向性</p> <p>地産地消の推進や給食施設の整備などを通じ、子どもたちに安全な学校給食を提供します。</p> <p>(具体的な施策) * [] は、事業完了を示します。</p> <p>学校給食における食品の安全を確保するために、園・学校に食品安全に関する情報を速やかに提供します。</p> <p>現場の栄養士、給食調理員の資質向上させるため関係機関と連携して講習会を開催します。</p> <p>開成南小学校において、給食調理民間委託がスムーズに実施できるよう努めます。済</p> <p>足柄平野の米をはじめとした農産物を学校給食に多く供給できるよう努めます 学校給食の衛生と安全な調理のため、給食備品類の更新や給食施設の整備を図ります。</p>
<p>2 事業の実施状況</p>
<p>平成22年度に町としては、初となる給食調理民間委託を開成南小学校において導入しました。</p> <p>平成22年7月には、町栄養士及び給食調理員を対象に、(財)神奈川県学校給食会と町の共催で衛生管理講習会を実施しました。</p> <p>国、神奈川県等からの学校給食に関する情報については、速やかに、幼稚園、学校に情報提供しました。</p> <p>幼稚園、学校の学校給食において、開成町産の米、黒米、米粉、卵や神奈川県産の野菜や牛乳などを活用し、地産地消に努めました。</p> <p>開成幼稚園においては、ガスレンジや下処理室シンク取付工事、開成小学校においては、ダムウェーダー巻上ロープ交換修繕、文命中学校においては、ドライ2槽シンク、熱風消毒保管庫などを購入し、給食施設の整備を図りました。</p>
<p>3 事業の効果等</p>
<p>学校給食においては、衛生管理の徹底を通じ、安全な給食を子どもたちに提供することが大変重要であり、給食施設の整備や国・県の情報提供等により、成果を上げることができました。</p> <p>町衛生管理講習会では、衛生管理の基本である手洗いや食中毒の予防、給食設備のドライ運用について学習することができ、普段の給食調理業務の資質向上を</p>

図ることができました。

平成22年度に開成南小学校において、給食民間委託を導入しましたが、年度を通じて問題となることもなくスムーズに給食を提供できました。

開成町産の米や県内産の食物の使用を校内放送などで周知することにより、学校給食の安全確保だけではなく食育の推進に資することができました。

達成度評価	100%	(算出根拠)上記目標に達したため
-------	------	------------------

4 事業の課題・改善策・今後の方向性等

引き続き、安全な学校給食を子どもたちに提供していくために、給食備品類の購入や学校給食施設の整備を進めていく必要があります。平成23年度より開成小学校調理室に米飯設備を導入する予定です。

近年の野菜、牛乳価格の高騰にあわせて幼、小、中学校の給食費の見直しを検討することが求められます。

開成南小学校の給食調理委託については、安全安心な学校給食を子どもたちに提供していくために、適切に実施していくことが求められます。

学校給食の安全確保や地産地消の観点から、食育を推進していくことが求められます。

5 有識者の評価

大腸菌による中毒が騒がれています。食品の安全と衛生面の安全も合わせて、なお一層努力して欲しい。

文命中学校への米飯設備の導入を考えていてもらいたい。

1 開成町教育振興基本計画に定める事業		
1 9 有害情報対策の推進		
目標や取組の方向性		
携帯電話やインターネット等の有害情報から子どもたちを守る取組を推進します。		
(具体的な施策) * [] は、事業完了を示します。		
子どもたちの携帯電話の学校内への持ち込み禁止を宣言するとともに携帯電話の使い方に関するルールづくりを家庭に促します。済		
学校裏サイトチェッカーなどを活用し、インターネット上の学校非公式サイト(いわゆる「学校裏サイト」)が発生しないよう監視するとともに子どもたちに書き込ませないよう指導します。		
神奈川県青少年保護育成条例の「有害図書類」に関する立ち入り調査について、平成21年度から事務の委譲を受けたので、町の判断により「有害図書類区分陳列等調査」として立ち入り調査を行います。済		
2 事業の実施状況		
業者に依頼を行い、週1回、インターネット上の学校非公式サイト(いわゆる「学校裏サイト」)が発生しないよう監視しています。		
3 事業の効果等		
業者による監視により、現在のところ、開成町立学校におけるインターネット上の学校非公式サイト(いわゆる「学校裏サイト」)は発生していません。		
達成度評価	100%	(算出根拠)
4 事業の課題・改善策・今後の方向性等		
全国的に、子どもたちの携帯電話の利用の拡大に伴い、「ネット上のいじめ」や有害サイトなどを通じて子どもたちが犯罪に巻き込まれる事件が発生しており、今後とも、情報モラル教育の推進を通じて、有害情報対策を実施していくことが求められます。		
5 有識者の評価		
業者による学校裏サイトの監視は、是非続けてほしい。 今後も引き続いて、大人たちが十分関心をもって見守ってほしい。		

1 開成町教育振興基本計画に定める事業		
20 個人情報保護の徹底 目標や取組の方向性 個人情報の重要性を認識し、子どもたちの個人情報の管理を徹底します。 (具体的な施策) 開成南小学校については、開校にあわせて平成22年度当初10台の「校務用パソコン配備事業」を実施します。 園・学校に対して情報処理専門技術者を隔週で派遣し、ウイルス対策ソフトのバージョンアップ等の管理及びその監視を実施します。 幼稚園、小学校、中学校の教職員に対して、「開成町学校等情報セキュリティ基本方針」を遵守させることによって、個人情報の取扱いの一層の徹底を図り、子どもたちの個人情報を二度と紛失しないよう、継続的に指導を実施していきます。		
2 事業の実施状況 平成20年度に開成小学校、文命中学校、平成21年度に開成幼稚園に教職員に校務用パソコンを整備しました。平成22年度の開成南小学校開校にあわせて、開成小学校から校務用パソコンを一部移設し、新規に10台校務用パソコンを整備しました。(開成幼稚園10台、開成小学校32台、開成南小学校26台、文命中学校31台 計99台) 園・学校に対して、情報処理専門技術者を派遣し、定期的に校務パソコンの状況確認を実施しました。平成22年度においては、校務パソコンからウイルス等個人情報流出の原因となるものは検出されませんでした。 園・学校に対して個人情報の取扱いについて、徹底を図るよう個別指導を実施しました。		
3 事業の効果等 園・学校への継続的な指導により、平成22年度においては、開成町立学校において、子どもたちの個人情報の紛失は発生しませんでした。		
達成度評価	100%	(算出根拠)
4 事業の課題・改善策・今後の方向性等 平成20年度の学校における個人情報紛失の発生を踏まえ、引き続き、教育委員会・学校における個人情報保護の徹底を進めていく必要があります。		
5 有識者の評価 個人情報の取り扱いについて、定期的な研修会の必要がある。 今後も個人情報の取り扱いに十分注意をして取り組んで欲しい。		

<p>1 開成町教育振興基本計画に定める事業</p>
<p>2 1 町民参加による学校支援</p> <p>目標や取組の方向性</p> <p>保護者や地域住民等が教育委員会、校長と責任を分かち合いながら、学校運営に携わっていくコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の設置、地域ボランティアをはじめ、地域ぐるみで学校を支援する学校支援地域本部の設置などを通じ、町民が学校を支える体制を整えます。</p> <p>(具体的な施策)</p> <p>コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)については、平成21年度において、引き続き、調査研究を行い、開成町の特色を踏まえながら、制度化の準備を行います。また、平成22年度から、開成小学校、文命中学校において、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を正式に開始します。開成南小学校については、開校後、制度の導入について、検討します。</p> <p>学校支援地域本部事業については、平成20年度の事業委託を受け、町民が学校を支える制度として、町の特色を踏まえながら、開成町に根付かせていきます。例えば、地元企業と連携した理科や外国語などの授業を実施したり、読書ボランティアと連携した読み聞かせなどに取り組みます。</p>
<p>2 事業の実施状況</p>
<p>平成20年4月より、保護者や地域の住民の声を学校運営に直接反映させ、保護者・地域・学校・教育委員会が一体となってより良い学校を作り上げていくことを目指す学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)の設置を開成小学校及び文命中学校において調査研究しました。そして、教育委員会において、学校運営協議会の制度の実施に向け、学校管理規則の改正や学校運営協議会の規程の作成など、制度改正を行い、神奈川県との協議の上、平成22年4月1日に開成小学校、文命中学校を学校運営協議会を設置する学校(コミュニティ・スクール)に指定しました。</p> <p>開成小学校及び文命中学校では、学校運営協議会を中心に、地域・家庭との連携を確実にするために努めました。例えば、協議会においては、子どもたちの教育環境改善の要望書を教育委員会に提出しました。</p> <p>町民が学校を支える制度として、学校支援地域本部事業を実施し、町非常勤職員によるコーディネータを開成小学校に派遣しました。コーディネータが学校と地域を結ぶ役割を果たしました。実際に、小学校の家庭科(ミシン学習)、生活科(竹とんぼやぶんぶんごまの作成)、社会科(戦争体験者の経験、足柄の歴史再発見クラブによる現地学習[瀬戸屋敷</p>

、大口堤等])、総合的な学習の時間 (障がいのある方との交流・福祉体験 [アイマスク、白杖、車イス])、中学校の家庭科や部活動などに、地域住民が参画して先生と協力しながら、授業等を行いました。

3 事業の効果等

開成小学校、文命中学校のコミュニティ・スクールの指定、開成南小学校の学校運営協議会制度 (コミュニティ・スクール) の調査研究、学校支援地域本部事業の実施などを通じ、町民が学校を支え、地域に開かれた学校づくりに資することができました。

開成小学校、文命中学校の学校運営協議会委員による学校を支えるために活動が、確かなものになってきました。

達成度評価	90%	(算出根拠) 学校支援の進捗状況
-------	-----	--------------------

4 事業の課題・改善策・今後の方向性等

開成小学校及び文命中学校において、平成22年4月から実施した学校運営協議会制度について、さらに内容・組織等の検討を行います。また、開成南小学校においても、開かれた学校づくりの一環から学校運営協議会制度 (コミュニティ・スクール) 調査研究を継続します。

学校支援地域本部事業の実施については、学校のニーズに応じた支援活動の企画・実施、学校が必要とする学校支援ボランティアの確保、更には、学校や教職員の意識改革など、課題を解決するために改善していくことが求められます。

5 有識者の評価

大変良いことだと思います。この取り組みを住民にもっと知らせ、大勢の人たちに関心をもってもらい協力者を増やしたら良いと思います。

地域に開かれ地域の方々の力をかりて学校づくりが行われている。学校運営協議会制度も急な改革はせず、ゆっくりと進めながら改善した方が良い。

1 開成町教育振興基本計画に定める事業		
<p>2.2 教育委員会の質の向上 目標や取組の方向性 教育に関する点検・評価の実施及び議会への報告や町民への公表、夜間教育委員会の実施等を通じ、教育委員会の取組を町民に広く周知するとともに教育委員会の質を高めます。 「開成町教育振興基本計画」の着実な実施と必要となる予算を確保します。 (具体的な施策) 教育委員会の夜間や町民センター以外で開催を行い、町民に開かれた教育委員会にします。 教育に関する点検・評価の実施及び議会への報告については、法律改正を踏まえ、毎年度着実に実施し、教育に関する説明責任を果たしていきます。また、点検・評価については、開成町ホームページ等を通じ、住民に公開していきます。 現下の町の大変厳しい財政状況を踏まえつつ、教育の町「かいせい」を具現化するために、可能な限り、教育に対する予算の確保に向けて、努力していきます。</p>		
2 事業の実施状況		
<p>教育委員会定例会議を、開成小学校、開成南小学校、文命中学校、開成幼稚園で開催し、授業参観を行いながら、教育委員と学校の教職員が意見交換を行うなど、教育委員が学校の取組の様子を知る良い機会となりました。 教育委員会会議の開催日を1週間前に町ホームページに掲載することにより、町民が教育委員会会議を傍聴できるよう、情報提供に努めました。 町教育委員会ホームページ、広報かいせい、お知らせ版などを活用し、教育に関する多様な情報提供に努めました。 教育委員会議事録の町ホームページの掲載が遅れているので、改善が必要となっています 開成町教育改革検証会議を開催し、開成町教育振興基本計画に基づいた教育に関する点検・評価について3月までの実績を踏まえ翌年度実施に切換えを実施しました。 開成町の基本方針として、開成町教育振興基本計画に基づいた「教育のまちづくり」を進めました。</p>		
3 事業の効果等		
<p>教育委員会の取組の町民への周知を通じ、教育委員会の質を向上することができました。また、ホームページへの会議の開催日を掲載することにより、町民が会議を傍聴するようになりました。</p>		
達成度評価	80%	(算出根拠)
4 事業の課題・改善策・今後の方向性等		
<p>今後とも、毎年度教育に関する点検・評価を実施するとともに教育に関する情報提供を通じ、町民に対する説明責任を果たしていく必要があります。 開成町教育振興基本計画に基づき、計画的に教育行政を行っていく必要があります。</p>		
5 有識者の評価		
<p>点検・評価を実施するなど、より良い教育委員会作りの姿勢は評価できます。 開成町立学校の指導体制について連絡調整機能としてのリーダー的役割も担って欲しい。 教育委員会の取り組みは、大変良いと思います。</p>		

<p>1 開成町教育振興基本計画に定める事業</p>
<p>2 3 家庭教育や家庭への支援の充実</p> <p>目標や取組の方向性</p> <p>幼・小・中学校の家庭教育学級や3歳児母親学級の充実、PTA指導者研修会の充実、教育講演会の充実などを通じた家庭教育を支援します。</p> <p>家庭における読書活動の推進、「早寝、早起き、朝ごはん」など正しい生活習慣の家庭への啓発などを通じ、家庭の教育力を高めます。</p> <p>関係機関との連携を図り、家庭への支援を充実します。</p> <p>(具体的な施策)</p> <p>教育は学校だけで行うものではなく、家庭での教育が基本となることから、保護者を対象とした家庭教育学級の充実や学校、家庭、地域での教育が十分連携できるよう推進します。</p> <p>今日的課題である、携帯電話やインターネットなどの有害情報から子どもたちを守るため、家庭教育学級、三歳児学級など保護者に対する学習メニューの改善と充実を図ります。</p> <p>家庭における読書活動を推進していくために、町民センター図書室の整備や蔵書の整備を図っていきます。また、引き続き、推薦書の周知など、家庭において、子どもたちが、読書を通じて、感性を深めていけるよう取組を進めていきます。</p> <p>開成町要保護児童対策地域協議会等を通じて、要保護児童及びその家族への適切な支援に関し、関係機関との連携を図ります。</p>
<p>2 事業の実施状況</p>
<p>保護者を対象にした家庭教育学級を実施しました。平成22年度 812人参加</p> <p>「自力整体～ボディーケア～」61人参加</p> <p>幼小中合同「町教育講演会」124人参加</p> <p>幼小中合同「ゴスペルと文命中学校吹奏学部と参加者のコラボ」230人参加</p> <p>「花とハーブを使ったミニスワッグ作り」75人参加</p> <p>小学校合同「骨盤調整体」88人参加</p> <p>「タグラグビー記録をつけよう トライ&アシスト」66人参加</p> <p>「相洋高校和太鼓演舞(参加型)」93人参加</p> <p>「思春期のこどもたちとの距離のとり方」31人参加</p> <p>「心の病からの回復と成長」～私の思春期と今～44人参加</p> <p>三歳児学級を開催しました。</p> <p><託児の状況></p>

	婦人会	中学生	高校生	計	(託児人数)
平成22年度(6日)	57人	46人	18人	121人	(109人)
平成21年度(6日)	84人	82人	35人	201人	(118人)
<p>*平成21年度までは15人/日、平成22年度から10人/日と託児協力人数の変更を実施。 保護者や教職員等を対象に、8月24日に教育講演会を開催しました。</p> <p>「発達障害の子とハッピーに暮らすヒント～4人のわが子が教えてくれたこと～」 講師：日本自閉症スペクトラム学会認定ASサポーター 堀内 祐子氏 176人参加 家庭における読書活動を推進していくために、毎月「広報かいせい」で新刊図書や推薦 図書の紹介を行っています。</p> <p>町福祉課が主催する開成町要保護児童対策地域協議会に、教育委員会職員が参加することにより、要保護児童及びその家族の支援のために、連携を図りました。</p> <p>保護者を対象にした講演会や取組等を実施し、実際に現在起きている子どもたちの周辺の状況を共通認識し、地域ぐるみで子どもたちを見守る環境を作ることができました。</p>					
3 事業の効果等					
<p>保護者を対象にした講演会や取組等を実施し、実際に現在起きている子どもたちの周辺の状況を共通認識し、地域ぐるみで子どもたちを見守る環境を作ることができました。</p>					
達成度評価	90%		(算出根拠)		
4 事業の課題・改善策・今後の方向性等					
<p>一部の保護者だけの参加では、問題の共通理解は難しいため、より多くの方の参加を の必要があります。</p>					
5 有識者の評価					
<p>子育てに不安を持つ保護者が増えていると聞く、まさに家庭教育力を高める取り組みをして欲しい。 今後、更に保護者の希望に答える事業の提供を希望します。 保護者の教育を是非充実させて欲しいと思います。 方法は、講演会や話し合い等を通して「保護者の在り方」、「学校の教育方針の理解」、「子どもの成長、発達等」いろいろあると思います。</p>					

1 開成町教育振興基本計画に定める事業		
2 4 規範意識や公共の精神の育成 目標や取組の方向性 あいさつ運動や登校指導などの参加の呼びかけ、マナーなどの啓発活動など大人自身が子どもたちの模範となる施策の推進、学校における道徳教育や人権教育の充実、福祉会館等における社会奉仕体験活動の促進などを通じ、町民一人ひとりの規範意識や公共の精神を高めます。 (具体的な施策) 広報等を通じ、開成町学校・地域安全推進委員会が実施している登校指導やあいさつ運動に、より多くの町民にご参加いただけるよう周知を図ります。また、情報交換により指導の充実を図ります。 マナーなど大人自身が子どもたちの模範となるよう町民講座を開設します。 子どもたちが高齢者や障がいのある方とのふれあい、町の行事への参加などを通して、自他の生命や動植物を尊重する心、感謝する心、思いやりの心や譲り合いの心などを育み、社会性や道徳性を高めるよう指導します。		
2 事業の実施状況		
開成町学校・地域安全推進委員会や町ホームページ、広報などを通じ、登校指導に町民の方が参加いただけるように周知を図りました。また、PTA、自治会、老人会など様々な団体のご協力により、あいさつ運動、登下校の安全活動を推進しました。 道徳教育を重視した新しい幼稚園教育要領や小学校・中学校学習指導要領に基づき、幼稚園、学校において、道徳教育を実践しました。特に、あじさい祭など地域の行事に参加したり、高齢者や戦争経験者、障がい者の方と触れ合う取組などを重視しました。 各園、学校において、人権尊重についての指導を朝会、学級指導等において実施しました 開成小学校ならびに開成南小学校の6年児童が卒業時に地域の公民館等の清掃活動を行いました。		
3 事業の効果等		
道徳教育や地域の方と触れ合う取組の実施により、自他の生命などを尊重する心、周りの人に感謝する心、思いやりの気持ちや自分たちの町を良くしていこうとする気持ちが子どもたちに確実に育まれています。		
達成度評価	70%	(算出根拠)
4 事業の課題・改善策・今後の方向性等		
規範意識や公共の精神を育成したり、人として当然持つべき、自他の生命を尊重したり、人に感謝したり、思いやりの気持ちを持つ心を育てていくために、学校における道徳教育や体験活動などを引き続き重視していく必要があります。		
5 有識者の評価		
規範意識や公共の精神の向上は、非常に大切なことです。是非、上からの押しつけではなく社会生活の中で、自然に高められるような方法で、啓発が出来たらと思います。 あいさつ運動では、子どもたちはあいさつを返してくれます。なかなか子どもの方からは、声が出にくいです。大人(親)の姿勢も大事だと思います。 学校での取り組みは重要であるが、家庭教育力の向上も欠かすことができない。		

<p>1 開成町教育振興基本計画に定める事業</p> <p>25 いじめや暴力行為、不登校対策の推進</p> <p>目標や取組の方向性</p> <p>瀬戸屋敷や開成町近隣の市町村立施設、県立施設、国立施設等を活用した自然体験活動の推進、学校においていじめはいかなる理由があっても許されないということの指導の徹底、学校における相談体制の整備、町民や関係機関等との連携協力の強化などを通じ、いじめ、不登校、暴力行為等の問題行動等を無くします。</p> <p>(具体的な施策)</p> <p>ジュニアリーダー研修やふれあいキャンプなど、瀬戸屋敷や開成町近隣の施設等を活用した自然体験活動や農業体験などを推進します。</p> <p>幼稚園、小学校、中学校、教育委員会が連携して、いじめ、不登校、暴力行為等生徒指導に関する問題を協議する開成町幼児・児童・生徒指導担当者会議を開催し、子どもたちの情報を共有するなど連携を図るなど、しっかりと取り組みます。</p> <p>小学校や中学校の学校間連携を密にし、不登校やいわゆる中1ギャップなどの問題に取り組みます。</p> <p>適応指導教室や心の教室相談員の事業等既存の事業だけではなく、平成21年度には、中学校において、生徒指導上の問題を抱える子どもを支援する支援員を新たに派遣し、学校における相談体制の充実を図ります。</p>
<p>2 事業の実施状況</p> <p>開成町の児童生徒指導上の諸問題に関する調査結果(平成22年度)においては、不登校の状況については、小学校は0名(前年度と同様)、中学校は8名(前年度と同様)、いじめの発生状況については、小学校では、1件(前年度より1件増)、中学校では6件(前年度より2件増)、暴力行為の発生状況は、小学校では0件(前年度と同様)、中学校では9件(前年度より19件減)という状況でした。</p> <p>開成小学校では、体験活動を豊かにするために、瀬戸屋敷を活用し、昔のくらしを経験しています。</p> <p>文命中学校では、平成22年度の重点目標に生徒指導の充実をかけた、校内の研究テーマを「生徒指導の機能を活用した指導方法の研究」とし、その具現化に向け、「積極的な生徒指導」と「問題行動への生徒指導」の二面から取り組みました。</p> <p>各園、学校では、教員が指導力の向上を図り、幼児児童生徒が興味を持って学習や活動に向かえるよう研修・研究を進めてきました。また、幼小中高の連携事業や町教育研究会において授業を見合い、指導の連続性に配慮しました。</p> <p>幼稚園、学校の生徒指導担当者、養護教諭からなる幼児・児童・生徒指導担当者会議を</p>

年2回(平成22年7月、平成23年2月)開催し、生徒指導や不登校などに関する情報交換などを行いました。

平成22年度より、不登校、いじめ、暴力行為等の調査を年度内に期間を区切って行い(短期調査)、学校と教育委員会の連携のもと、早期の解決に努めました。また、いじめの早期発見に向けてのアンケート調査を各校で実施しました。

3 事業の効果等

学校の教職員、スクールカウンセラー、臨床心理士、心の教室相談員、適応指導教室など多くの関係者の取組で、本町の児童生徒指導上の問題行動等については、平成22年度は減少傾向にあります。しかし、一人でも心も痛める児童生徒がでないよう園、学校の教職員だけでなく町全体で取り組む必要があります。

アンケート調査や聞き取り等を各校で実施し、子どもたちの状況を丁寧に見取ることで、いじめの早期発見、早期解決につなげています。

達成度評価	80%	(算出根拠)
-------	-----	--------

4 事業の課題・改善策・今後の方向性等

開成町においては、学校などの取組の成果で、子どもたちへの出席停止の法的措置はとられていません。しかし、今後とも、学校や警察をはじめとした外部機関と連携を図りながら、生徒指導に関する取組を強化していく必要があります。そして、いじめや暴力行為をしない、許さない環境・雰囲気クラスや学校の中、そして町全体に作る必要があります。

不登校の児童生徒がなくなるよう欠席について敏感になるとともに保護者・スクールカウンセラー・医師等と連携を深めながら、より良い支援策を構築していく必要があります。

5 有識者の評価

町教育委員会が生徒指導に積極的に関わる姿勢があってよい。今後とも学校からの要望により学校の支援をして欲しい。

いじめや暴力行為等の問題等についても、今までの取り組みで良いと思っていますが、さらに保護者、一般の大人たちへの問題でもありますので、それへの対応も考えて欲しいと思います。

1 開成町教育振興基本計画に定める事業		
2 6 歴史や伝統・文化に関する教育の推進		
<p>目標や取組の方向性</p> <p>足柄地域の歴史や伝統文化の調査・研究並びに伝承、「富士山と酒匂川」等地域を題材とした教材等の充実、歴史・文化講座の開催などを通じ、歴史や伝統文化に関する教育を進めていきます。特に、町名の由来となっている「開物成務」の意味を子どもたちから教えます</p> <p>(具体的な施策)* は、事業完了を示します。</p> <p>「富士山と酒匂川」の冊子については、学校に大変好評であり、増刷を行い、学校に追加配布を行うことにより、足柄地域の歴史や伝統文化に関する教育を充実します。</p> <p>済</p> <p>平成18年度から「足柄の歴史再発見クラブ」との協働で進めている調査・研究事業を継続し、今後は福沢諭吉や二宮尊徳など縁の人物や金太郎など歴史人物や伝説について調査・研究を進めます。</p> <p>町名の由来となっている「開物成務」の意味については、小学校3・4年生の社会科で活用している副読本「私たちのまち開成」に、新たに掲載し、子どもたちに早い段階から教えます。</p>		
2 事業の実施状況		
<p>足柄の歴史再発見クラブは平成22年度は「全国禹王(文命)文化まつり」の開催に向けての取り組みが中心となっており、子ども向けの事業展開はほとんどなかった。小学校3・4年生の社会科で活用している副読本「私たちのまち開成」については、3年ごとの更新のため次回平成23年度に対応する。</p>		
3 事業の効果等		
<p>「足柄の歴史再発見クラブ」による、地域の歴史研究が大きく実を結び「全国禹王(文命)文化まつり」が盛大に開催され、町の文化振興に大きく寄与することとなりました。</p>		
達成度評価	60%	(算出根拠)一般向けの事業展開のみでありました
4 事業の課題・改善策・今後の方向性等		
<p>伝統・文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛することは、改正教育基本法で定められた教育の目標の一つであり、新しい学習指導要領の改訂の大きな柱の一つであることを踏まえ、今後とも、歴史や伝統・文化に関する教育を推進していくことが求められます。</p>		
5 有識者の評価		
<p>確かに、子どもたちの参加が考えられていなかったのが残念でした。</p> <p>町教育研究会で「文命(禹王)」について取り上げるなど、歴史、伝統文化に関する教育の推進となりました。</p> <p>生徒・教員が全国禹王まつりに参加し、改めて郷土学習の場となりました。</p>		

1 開成町教育振興基本計画に定める事業		
2 7 芸術・文化活動の推進 目標や取組の方向性 かいせい文化祭の充実、文化団体連絡協議会への支援、開成町に残る伝承芸能の保存支援、「足柄の歴史再発見クラブ」等民間グループの育成支援、町民の文化芸術活動の参加の促進、町民センター郷土資料室の整備、瀬戸屋敷の活用促進などを通じ、芸術・文化活動を広げます。 (具体的な施策) 町民センター、福祉会館、瀬戸屋敷などを利用した芸術・文化活動について、内容の検討や充実を行います。 かいせい文化祭については、出展者や出展作品等の見直しを図ります。また、出品等の実演コーナーや販売ブースを設けるなど、出展者と参観者の交流が図れるような工夫をします。 町民センターや瀬戸屋敷など既存の施設の有効活用を図ります。		
2 事業の実施状況		
町民センター、福祉会館、瀬戸屋敷などを利用した芸術・文化活動については、フォトあしがらなどの文化団体の協力のもと、事業の充実を図った。 なお、平成21年度から瀬戸屋敷において、文団連主催による「風鈴まつり」がスタートしたが、平成22年度は販売したあじさい風鈴も好評で、あじさい祭りの「アフターイベント」として定着した。 文化祭については、マンネリ化を防ぐため、文団連以外の出品者の作品の展示も行った。 (平成22年度)文化祭展示38団体及び個人1057点出展、芸能発表23団体 観4,590人 足柄の歴史再発見クラブを中心とする実行委員会にて開催された「全国禹王(文命)文化まつり」に対して、財政的、人的なサポートを行い、2日間で1,000人の参加者を集め盛大に実現できた。		
3 事業の効果等		
町民センター・福祉会館・瀬戸屋敷等、様々な施設を活用するとともに、その内容を改善して充実を図ることで、幅広い住民の方々に文化・芸能を鑑賞する機会を提供できた。住民主導による文化イベント(全国禹王(文命)文化まつり)が大成功を収め、町の文化振興に大きく寄与した。		
達成度評価	100%	(算出根拠)風鈴まつり等での内容充実、全国禹王(文命)文化まつりの成功
4 事業の課題・改善策・今後の方向性等		
文団連加入団体の高齢化により、段々運営が難しくなっている。広報紙や「自治		

活動等情報コーナー」などを活用し、新しい団体の発掘や若い世代の加入促進を行い、若返りを図る必要があります。

5 有識者の評価

「文化祭」については、関係者以外の来場者がやや少ないと思います。会場の検討も必要かもしれない。「禹王まつり」は、全国規模で開催されて成功を修めて良かった。「風鈴まつり」は、参加団体がもっと積極的に会場でアピールした方が良いと思います。若者の芸術・文化活動が、やや低迷していると思います。発表会（演奏・展示等）がもっと出来るように今後も会場の提供や使用料の割引をして欲しいです。文化的活動は、参加人数に左右されず着実に努力することが大切です。

1 開成町教育振興基本計画に定める事業		
2 8 歴史的文化的遺産の保存活用		
<p>目標や取組の方向性</p> <p>町指定重要文化財（瀬戸屋敷・円通寺観音）の保存、地域の文化的遺産や民具などの保存並びに活用促進、史跡等の案内板の整備などを通じ、歴史的文化的遺産を保存し活用します（具体的な施策）</p> <p>町の重要文化財や民具等について保全するとともに広報やホームページ等を通じて、住民に対してその存在や歴史等について周知に努めます。</p>		
2 事業の実施状況		
<p>現在、町の文化財である・瀬戸屋敷と円通寺観音堂を保存しています。瀬戸屋敷においては保存されていた民具等の展示を行いました。</p> <p>「九十間堤防上の水神碑」修復、及び「円通寺観音案内看板」塗装補修完了 済</p> <p>町指定文化財である瀬戸屋敷の修復費用を積み立てるために「瀬戸屋敷基金」を創設しました。（平成22年4月1日施行） 済</p> <p>* は、事業完了を示します。</p>		
3 事業の効果等		
<p>特に、広報誌での「かいせいまち歴史散歩」については、記述についての町民等の意見等もあり、歴史への町民の意識の高さが見られました。</p>		
達成度評価	100%	(算出根拠)
4 事業の課題・改善策・今後の方向性等		
<p>町には、瀬戸屋敷と円通寺観音堂の2カ所が指定文化財となっていますが、道祖神等が多く点在していること、あるいは、矢倉沢往還などの古道もあることから、これらの活用を図りながら、その整理及び整備をすすめます。</p>		
5 有識者の評価		
<p>今後も引き続いて予算化して下さい。（掲示板の設置、文化的遺産、民具等の保存展示等）町外から来られた方に道祖神の写真（瀬戸屋敷に展示）を見て、これを巡るウォーキングマップがあると良いと言われます。実現できないでしょうか。</p>		

1 開成町教育振興基本計画に定める事業
<p data-bbox="156 297 459 331">2 9 環境教育の推進</p> <p data-bbox="212 353 491 387">目標や取組の方向性</p> <p data-bbox="151 414 1428 566">足柄西部環境センターやグリーンリサイクルセンターの見学、町の花であるあじさいやホテル等を題材にした学習等の充実、ごみの分別、光熱水代、紙使用の削減等の促進などを通じた環境教育を充実します。</p> <p data-bbox="156 589 387 622">(具体的な施策)</p> <p data-bbox="180 645 1396 739">環境について、実感をもって学習できるよう、例えば、農家の見学、生物の学習、星の観察会など、体験的な活動を重視していきます。</p> <p data-bbox="212 761 1077 795">開成南小学校の太陽光発電装置を活用した環境教育を進めます。</p> <p data-bbox="180 817 1396 911">幼稚園、小学校、中学校に対し、更に、ごみの分別、光熱水費の削減、紙使用の削減等を促します。</p>
2 事業の実施状況
<p data-bbox="180 981 1428 1075">幼稚園、学校では、年間を通じて、授業を中心に学校教育全体を通して、環境教育に関する取組を行いました。</p> <p data-bbox="180 1097 1428 1305">開成幼稚園では、資源リサイクルの目的のため、子どもたちが保護者と一緒に6月、11月、平成23年1月にアルミ缶回収を行ったり、毎日給食時に牛乳パックを小さくつぶしたり、分別を行ったりしました。また、町環境防災課からの出前講座で、ごみゼロ環境講座の話を聞きました。</p> <p data-bbox="180 1328 1428 1713">開成小学校では、ゴミの処理などについて、自分の問題として学習しており、1学期末から夏休みにかけて、ゴミの収集場所や収集車への積み込みの様子を見学したり、ゴミと資源の分け方、出し方について開成町環境防災課職員から説明を受けたりしました。2学期には、足柄西部環境センターを見学し、実際に自分たちが出したゴミの処理について学びました。また、国語で環境について学習したことを、「ごみゼロアクションinあしがら」で掲示をしたり、総合的な学習の時間を活用し、校内のゴミを減らす活動を行うなど、自らの学習環境の改善にも努めました。</p> <p data-bbox="180 1736 1428 1888">開成南小学校では、屋上の太陽光発電装置を、省エネに関わる環境教育に活用しました。また、社会科や総合的な学習では、地域の水資源（用水路や酒匂川）について、学習をしました。</p> <p data-bbox="180 1910 1428 2004">文命中学校では、社会、理科、保健体育、技術・家庭等を通じて、環境教育に関する学習を行いました。また、生徒会活動の福祉厚生委員会では、ペットボトルキャップを集めて</p>

、ボランティア団体に届けました。全校で関わったゴミを減らす活動「ごみゼロチャレンジ」(地域のごみ処理施設の見学・ごみの不法投棄の実態などの見学等を通して、ごみを減らす活動と資源を無駄にしない活動などを中学生の視点から考える)を「ごみゼロアクションinあしがら」で発表しました。

園長・校長会議等を通じて、ゴミの分別、光熱水費の削減、紙使用の削減を促しました。

3 事業の効果等

開成町は、水辺や緑などの自然環境の保全・再生・整備が図られ、快適で潤いのあるまちづくりが行われています。子どもたちが環境教育の取組を通じて、開成町の自然に対する愛着や自然を大切にしたい気持ちが育まれました。また、自分たちの出すごみの処理には多くの方の努力や多額の費用が必要であること等を学び、ごみを減らす意識や限りある資源を大切にしようとする気持ちが持てました。

達成度評価

90%

(算出根拠)

4 事業の課題・改善策・今後の方向性等

町民の皆さまが一体となって町をきれいにする心をはぐくみ、清潔で美しいまちづくりを図ることを目的に「開成町きれいなまちをつくる条例」を制定し、平成21年7月から運用を開始したことなど、開成町が環境を重視した町づくりを進めていることを踏まえ、環境問題への啓発や環境教育の推進をさらに行う必要があります。

5 有識者の評価

子ども達への環境教育は、大切でさらに続けていく事が将来の町民意識を変えて行くと思う。その反面、町の各所で問題になっているマナー違反の対応が難しい。「開成町きれいなまちをつくる条例」が、広く知れ渡っていない。

1 開成町教育振興基本計画に定める事業		
30 環境美化の促進		
<p>目標や取組の方向性</p> <p>道路や河川、公共施設等の環境美化を促進します。</p> <p>(具体的な施策)</p> <p>「開成町きれいなまちをつくる条例」に基づき、空き缶や紙くず等のポイ捨て、犬のふんの放置をなくし、美しいまちをつくりたい。</p>		
2 事業の実施状況		
<p>「開成町きれいなまちをつくる状況」について、広報かいせいによる町民への周知、町ホームページへの掲載、ごみ収集車の車両による広報を行いました。</p> <p>酒匂川統一美化キャンペーン(5月)、夏のかいせいクリーンデー(7月)、神奈川県におけるレジ袋削減普及啓発事業(10月)、春のかいせいクリーンデー(3月)などを実施し、町内の美化に努めました。</p>		
3 事業の効果等		
<p>条例の制定や町民への周知、各種美化キャンペーンの実施により、町民の環境を大切に、町の美化を図る意識の向上に資することができました。</p>		
達成度評価	80%	(算出根拠)
4 事業の課題・改善策・今後の方向性等		
<p>町内全町公園化など、開成町の方針に沿って、今後とも環境美化を促進していく必要があります。</p>		
5 有識者の評価		
<p>公道(車道)に面したゴミステーションでゴミが溢れて景観を損なっている所があるので対策を考えて欲しい。</p> <p>名目より具体的に何か一つ行動したい。</p>		

1 開成町教育振興基本計画に定める事業		
3 1 町民のまちづくりへの参加の支援 目標や取組の方向性 自治会、婦人会、子ども会等の地域コミュニティや町の実施するイベントなどへの町民の積極的な参加を支援します。 町役場等公共施設の見学等の充実、子ども議会の充実などを通じ、社会の仕組みを学び、まちづくりに参画する子どもたちの態度を養います。 あじさい祭、開成阿波おどり、防災訓練など町や自治会が行う事業への町民の参加促進、障害者や高齢者とのふれあい事業の充実など子どもたちのボランティア活動を推進します。 (具体的な施策)* は、事業完了を示します。 自治会、婦人会、子ども会等の各種地域コミュニティや町の実施するイベントなどへの町民の積極的に参加を支援します。 子ども議会については、小学校だけではなく、中学校を対象として、開催します。済町民、企業、行政が連携し、それぞれが役割を分担しながら、協働のまちづくりを進めていきます。		
2 事業の実施状況		
教育委員会が主催する事業、婦人会、子ども会などの各種団体が実施する事業について、広報、お知らせ版、町ホームページを通じて、町民への参加を呼びかけました。なお、町が9月に実施した防災訓練については、小学生が388人、中学生が176人参加しました。		
3 事業の効果等		
開成町は、自治会を中心とする町民との協働のまちづくりを進めており、教育委員会として、町民と連携した事業や学校支援地域本部事業などを通じ、町民が主体となるまちづくりを行う雰囲気づくりの醸成に努めました。		
達成度評価	80%	(算出根拠)
4 事業の課題・改善策・今後の方向性等		
自治会を中心とする町民との協働のまちづくりを推進していくために、町部局に自治活動応援課が平成22年4月に設置されました。今後とも、教育委員会と自治会担当課との連携を密にして、町民のまちづくりへの参加を支援していく必要があります。		
5 有識者の評価		
町の自治活動応援課の活動がもっと積極的に活発であって欲しい。 町民参加を意識するあまり各団体に大きな負担になってはいけない。		

1 開成町教育振興基本計画に定める事業		
3 2 勤労観、職業観を育てる教育などの充実 目標や取組の方向性		
<p>外国との相互理解を深め、豊かな人間性や見識を養う教育を行うとともに、将来、世界に挑戦するような夢を持てるよう、米作りや町の企業等での職場体験活動の推進など地域の人材や企業等と連携し、子どもたちの勤労観、職業観を育てる教育などを充実します。</p> <p>(具体的な施策)</p> <p>小学校においては、引き続き、係活動、委員会活動、清掃活動、給食活動など、子どもたちに働くことを意識付ける活動を進めます。中学校においては、現在、実施している職場体験活動の充実に努めます。また、地元の企業や農家などと連携した授業に取り組みます。</p> <p>小学校において「外国語活動」が新設され、中学校において外国語科が改善されたことなどを踏まえ、外国の人々との交流などを通し、外国の言語や文化に対する理解を深めることで、社会や経済のグローバル化に対応し国際社会に貢献できる子どもたちを育成します。</p>		
2 事業の実施状況		
<p>開成小学校、開成南小学校においては、年間を通じて、係活動、委員会活動、清掃活動、給食活動など、子どもたちが自らの生活を充実させるために働く活動を進めました。</p> <p>文命中学校では、平成22年11月に2年生が2日間、町内、小田原市、南足柄市、足柄上郡などの約50の事業所において職場体験学習を実施しました。</p> <p>新しい学習指導要領の移行措置が平成21年4月から実施されたことを踏まえ、開成小学校、開成南小学校の5・6学年では、外国語活動を本格的に実施し、文命中学校でも外国語の指導の改善を行いました。小中学校においては、外国人講師の指導助手を配置し、指導の充実に努めました。</p> <p>町自治活動応援課において、国際交流事業を実施し、平成23年2月10日に開成小学校、開成南小学校に韓国、台湾、サウジアラビア、コートジボアールなど神奈川工科大学の留学生を派遣し、交流活動を行いました。</p>		
3 事業の効果等		
<p>係活動や職場体験等を通じ、子どもたちが働くことの意味や自分の将来について考える良い機会となりました。(中学校では今年度より職場体験学習を1日から2日に増加)</p> <p>小学校の外国語活動、中学校の外国語の授業や町の国際交流事業などを通じ、外国の言語や文化に対する理解が深まりました。</p>		
達成度評価	90%	(算出根拠)
4 事業の課題・改善策・今後の方向性等		
<p>早期の段階から、子どもたちの勤労観、職業観を養っていく必要があり、今後とも、キャリア教育の趣旨に沿った職場体験などの学習を実施していきます。</p> <p>外国語教育の充実・改善については、今後とも重視し、新しい学習指導要領の趣旨にそった教育を展開する必要があります。</p>		

5 有識者の評価

勤労観、職業観を育てる教育も大切と思うがボランティア精神を養う教育が取り上げられていなかった。この度の大震災でもボランティア活動が注目されました。日本には、あまりボランティアという教育が重視されていない気がします。ボランティア精神を身につける事により、勤労の意義もより深まると思う。

関 連 資 料

開成町立学校の基礎データ

開成町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行
の状況の点検及び評価実施要綱

開成町人づくり憲章

開成町教育振興基本計画の概要

開成町立学校の基礎データ

開成町立幼稚園・小学校・中学校について

校（園）名	創立年月
開成幼稚園	昭和 4 5 年 4 月
開成小学校	明治 6 年 5 月
開成南小学校	平成 2 2 年 4 月
文命中学校	昭和 2 2 年 5 月

幼児・児童・生徒数、教職員【平成 2 2 年 5 月 1 日現在】

・開成幼稚園

幼児数	学級数	教職員数
1 8 7 人	6 学級	1 3 人

・開成小学校

児童数	学級数	教職員数
5 8 9 人	2 0 学級	3 7 人

・開成南小学校

児童数	学級数	教職員数
5 0 5 人	1 8 学級	2 7 人

・文命中学校

生徒数	学級数	教職員数
4 6 4 人	1 6 学級	3 6 人

開成町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価
実施要綱

平成21年11月25日

(趣旨)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号。以下「法」という。)第27条の規定に基づき開成町教育委員会(以下「委員会」という。)が行うその権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(以下「点検及び評価」という。)の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 点検及び評価の対象とする事務は、開成町教育振興基本計画(平成21年3月27日決定)に定める施策に関する事務を対象とする(以下「対象事務」という)。

2 前項の規定にかかわらず開成町教育委員会教育長(以下「教育長」という。)が必要と認める事業を対象事務に加えることができる。

(点検及び評価の実施)

第3条 委員会は、点検及び評価として、毎年度、対象事務の取組の状況並びに対象事務の実施による成果及び課題等を整理して、委員会の権限に属する事務の今後の取組の方向性を明らかにするものとする。

2 委員会は、前項の規定による点検及び評価の結果を取りまとめるときは、あらかじめ、その内容について、次条第1項の規定により置く開成町教育改革検証会議委員(以下「委員」という。)の意見を求めるものとする。

(開成町教育改革検証会議)

第4条 教育に関する学識経験を有する者等の知見の活用を図り、点検及び評価の客観性を確保するため、委員により構成される開成町教育改革検証会議(以下「会議」という。)を設置する。

2 委員は、会議において、委員会が行った点検及び評価の結果について意見を述べるものとする。

3 委員の定数は、3人とし、教育に関し識見を有する開成町民及び開成町教育研究会のうちから開成町教育委員会教育長が委嘱する。

4 委員の任期は、前条第1項の規定による点検及び評価が終了したときまでとする。

5 委員は、再任することができる。

6 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

7 委員が会議に出席したときは、報償費を支給するものとし、その額は別表のとおりとする。

(委任)

第5条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この訓令は、公表の日から施行する。

ひと 開成町人 づくり憲章 (平成21年3月27日制定)

わたくしたち開成町民は、豊かな自然の中で、健康で潤いに満ちた幸福な生涯を送ることのできる社会を実現するために、「開物成務」の精神にのっとり、人づくりを行うことを決意し、ここに開成町人^{ひと}づくり憲章を定めます。

- 開物成務の精神にのっとり、自ら考え行動し、成すべきことをやり遂げる人づくりを行います
- 開成町民は一人ひとりが責任を持ち、力を合わせて人づくりを行います
- かけがえのない命を尊び、家族や友達、地域の人々とともに助けあい支えあう人づくりを行います
- 歴史に学び、自然や伝統文化を愛し守り伝える人づくりを行います
- 開物成務の精神にのっとり、まちづくりに自ら進んで参画し、社会に尽くす人づくりを行います

* 「開物成務」とは、「学問・知識を開発し、世のため成すべき務めを成さしめる」という意味の古い中国の言葉です。

開成町教育振興基本計画の概要

開成町教育振興基本計画とは

- 教育基本法第17条第2項に基づいて、開成町としてはじめて作成を行い、平成21年3月27日に制定されました。
- 「開成町人づくり憲章」の理念を具体的実現するため、10年先を見据えた5年間（平成21年度から平成25年度）の計画として策定しました。
- 教育の町「かいせい」にふさわしく、開成町の未来を切り拓く教育の振興に町全体で取り組んでいくことを目指すものです。

今後概ね10年間を通じて目指すべき開成町の教育の姿（開成町教育振興基本方針）

生涯を通じての学習や体力づくりをとおして、自らを高め、自立を図ります。
町民一人ひとりがそれぞれの立場で連携しながら、子どもたちを守り育てます。
規範意識や公共の精神を高め、他人を思いやる豊かな心を育てます。
自然や環境、歴史や伝統、芸術や文化を尊重し、私たちのふるさとである開成を大切にします。
自治会活動をはじめとした地域コミュニティへの参画などを通じ、まちづくりに貢献します。

開成町教育振興基本計画の主な内容（今後5年間で重点的に行う施策）

- ◆ 生涯にわたる学習の支援
→ 図書館の広域連携や瀬戸屋敷などを活用した各種イベント事業など生涯学習プログラムの充実、「団塊の世代」の活用やジュニアリーダー研修の充実など生涯学習を支える指導者の育成、開成南小学校の学校施設の一般開放など生涯学習を支える施設の整備に取り組みます。
- ◆ 生涯にわたる体力づくりの支援
→ 他市町とのスポーツ交流の推進などスポーツ・レクリエーション活動の充実、「かながわアスリートネットワーク委員」の活用などスポーツを支える指導者の育成、開成スポーツ水辺公園への指定管理者制度の導入（平成22年4月）などスポーツを行うための環境の整備に取り組みます。

◆ 子どもたちの「生きる力」の育成

→ 基礎的・基本的な知識・技能の習得や理解の確立、学習意欲の向上や学習習慣の確立、体育や食育の充実、「幼・小・中・高体験連携事業」の内容の充実や平成22年に再編される(仮称)開成方面総合学科高校との連携など保・幼・小・中・高等学校の連携、子育て支援の充実など幼児教育の充実、生活支援員の配置・派遣など特別な支援を必要とする子どもたちへの教育の充実に取り組みます。

◆ 教育条件の整備

→ 開成南小学校の計画通りの開校(平成22年4月)に向けた諸準備、既存の園・学校の必要な改修など学校教育施設の整備、必要な教材・備品の準備や小学校外国語活動に対応するための小中の教員交流など新学習指導要領への対応、研修の充実や教職員の子どもたちと向き合う時間の確保など教職員や学校教育を支える人材への支援の充実に取り組みます。

◆ 子どもたちの安全・安心の確保

→ 開成町学校・地域安全推進委員会の活動の活性化や放課後子ども教室の導入の検討など子どもたちの安全・安心の確保、関係機関との連携や宿泊体験事業の充実など子どもたちの健全育成、地産地消など学校給食における食品の安全確保、校内への携帯電話の持ち込み禁止など有害情報対策の推進、個人情報の取り扱いの教職員への一層の徹底など個人情報保護に取り組みます。

◆ 町民の学校支援

→ 地域に開かれ、地域に支えられる学校づくりの仕組みである「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」の研究・導入、地域ぐるみで学校を支援する「学校支援地域本部」の実施など町民参加による学校支援に取り組みます。

◆ 教育委員会の改革

→ 町民に開かれた教育委員会や教育に関する点検・評価など教育委員会の質の向上に取り組みます

◆ 家庭の教育力の向上

→ 家庭教育学級や三歳児学級の充実など家庭教育や家庭への支援の充実に取り組みます。

◆ 他人を思いやる豊かな心の育成

→ 登校指導やあいさつ運動の周知、子どもたちへの社会性や道徳性を高める指導の徹底など規範意識や公共の精神の育成、学校間連携による問題行動対策や中学校への新たな生活支援員の配置などいじめや暴力行為、不登校対策の推進に取り組みます。

◆ 歴史教育や伝統・文化活動の推進

→ 地域の歴史人物や伝説の調査・研究など歴史や伝統・文化に関する教育の推進、文化祭の充実など芸術・文化活動の推進、町の重要文化財や民具など歴史的文化遺産の保存活用に取り組みます。

◆ 環境教育の推進や環境美化の促進

→ 開成南小学校の太陽光発電の活用など環境教育の推進、環境美化の促進に取り組みます。

◆ まちづくりへの貢献

→ 各種コミュニティの実施するイベントなどへの町民の積極的な参加の支援など町民のまちづくりへの参加の支援、職場体験活動の充実など勤労観・職業観を育てる教育の推進に取り組みます。

